

For Customer in China

根据中华人民共和国信息产业部第39号令《电子信息产品
污染控制管理办法》及标准中要求的“有毒有害物质或元
素名称及含量”等信息，本产品相关信息请参考以下链接：
<http://pro.sony.com.cn>

SONY®

4-274-301-02(1)

出版日期：2011年4月

この説明書は、再生紙を使用しています。

Printed on recycled paper.

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 <http://www.sony.net/>

Sony Corporation Printed in Japan



* 1 - 4 2 7 4 3 0 1 0 2 Y *

HD Camera Unit

取扱説明書	JP
Operating Instructions	GB
Mode d'emploi	FR
Bedienungsanleitung	DE
Manual de instrucciones	ES
Istruzioni per l'uso	IT
使用说明书	CS
Instruções de Operação	PT

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みの
うえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、い
つでも見られるところに必ず保管してください。

ご使用にあたっては、HD ビジュアルコミュニケーションシステ
ム PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 の取
扱説明書もあわせてご覧ください。

PELA

PCSA-CXA55

© 2011 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～6 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 接続している HD ビジュアルコミュニケーションシステムの電源を切る。
- ② 接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
本機の性能を維持するために	7
CMOS 特有の現象	8
特長	8
各部の名称と働き	9
設置する	10
モニター用テレビに設置する	10
映像の撮影状態を一時的に 停止する	12
故障かな？と思ったら	13
仕様	14
保証とアフターサービスに ついて	15



下記の注意を守らないと、火災や感電により
死亡や大けがにつながる可能性があります。

水にぬれる場所で使用しない



水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

分解や改造をしない



分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

**注意**

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺**の**物品**に**損害**を与えることがあります。

付属の接続ケーブルを使う

**指示**

付属の接続ケーブルを使わないと、火災や感電の原因となる場合があります。

コード類は正しく配置する

**指示**

接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

指定されたカメラケーブルなどの接続ケーブルを使う

**指示**

この取扱説明書に記されているカメラケーブルなどの接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

**禁止**

水や異物が入ると、火災の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに接続している HD コミュニケーションシステムの電源を切り、接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

**禁止**

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、動作不良をはじめ、火災や感電の原因となることがあります。

接続ケーブルを傷つけない

**禁止**

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない
 - 重い物をのせたり、引っ張ったりしない
 - 熱器具に近づけたり、加熱したりしない
 - コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
- 万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。

お手入れの際は、電源を切る

**指示**

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

運搬時には、接続ケーブルを取り外す

**指示**

本機を運搬する際には、接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っかかると、転倒や落下の原因となることがあります。

設置は専門の工事業者に依頼する



指示

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高所への設置は、本機の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

不安定な場所に設置しない



禁止

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ぐらついた台の上
 - 傾いたところ
 - 振動や衝撃のかかるところ
- また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

本機の性能を維持するため

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- ・ 極端に暑い所や寒い所 (使用温度は 5℃ ～ 35℃)
- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近く
- ・ 強い磁気を発するものの近く
- ・ 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- ・ 振動や衝撃のある所

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

コミュニケーションシステムとの接続について

HD ビジュアルコミュニケーションシステムと接続するとき、コミュニケーションシステムの電源を入れたまま、ケーブルをつながないでください。故障の原因となったり、映像が映らないことがあります。

輸送について

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

本体のお手入れ

- ・ レンズの表面に付着したごみやほこりは、ブローアーで払ってください。
- ・ 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ 殺虫剤のような揮発性の物をかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

定期メンテナンスについて

本機は駆動部を持つ製品であるため、使用条件により、磨耗やグリス切れによる異音が発生する場合があります。性能を維持するため、定期メンテナンスを行うことをおすすめします。異音などが発生した場合は、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームは CMOS に損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOS 表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

CMOS 特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) 特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOS 撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これは CMOS 撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- ・高温の環境で使用する時
- ・GAIN（感度）を上げたとき

本機においては、接続している HD ビジュアルコミュニケーションシステムの電源を切り、再び電源を入れることで現象が改善することがあります。

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

特長

本機は、ソニーの HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 の専用カメラです。

本機の電源は、コミュニケーションシステムから供給されます。本機の調整、設定などについては PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 の取扱説明書をご覧ください。

800 万画素 CMOS による高画質

有効画素数 800 万画素の CMOS 採用で、高精細なハイビジョン映像を撮影できます。

マイク内蔵

カメラとマイクの一体型で、スペースをとりません。

撮影不要時にレンズを覆うレンズカバー

システムを起動したままでも、レンズを覆うカバーで、映像の撮影状態を一時的に停止できます。

吸盤による簡単着脱

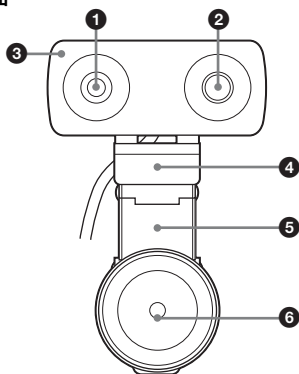
モニター用テレビには、吸盤で取り付けます。可動式リンクアームにより、多くのモニター用テレビに着脱可能です。（一部装着できない機器があります。）

HD に対応したビデオフォーマット

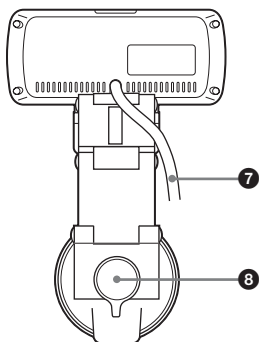
ハイビジョン放送で使用されている HD（720p）の撮影が可能です。

各部の名称と働き

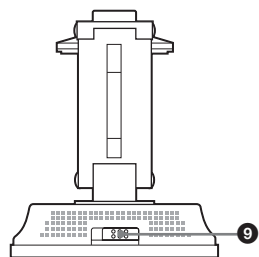
前面



後面



上面



① レンズ

デジタル3倍ズームレンズです。

② マイク

カメラユニットに内蔵のモノラルマイクです。

③ タリールンプ

会議中に、カメラの映像が相手側に送信されているときに点灯します。

④ チルトベース

モニター用テレビの上部に乗せて、カメラユニットを支えます。

⑤ リンクアーム

下部についている吸盤を、お使いのモニター用テレビの背面にぴったりと合わせるように動かします。

⑥ 吸盤

モニター用テレビの背面や机上に固定します。

モニター用テレビ背面、吸着がしづらい机上には、付属のシールを貼っておきます。

⑦ 接続ケーブル

HD ビジュアルコミュニケーションシステムのCAMERA 端子に接続します。

⑧ 吸盤レバー

中央を強く押しながらレバーを回して、吸盤でカメラユニットを装着します。取り外すときもレバーを回します。

⑨ レンズカバー開閉レバー

レンズを隠すカバーを開閉します。

設置する



指示

設置は確実に

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置は、本機の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して、大げがの原因となります。

また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないかを点検してください。

モニター用テレビに設置する

このカメラユニットはモニター用テレビの上に設置します。

1 本機の吸盤から、吸盤保護カバーを外す。

2 本機の吸盤を取り付ける位置を決める。

本機のチルトベースをモニター用テレビに載せ、リンクアームを調整し、吸盤の位置を決めてください。

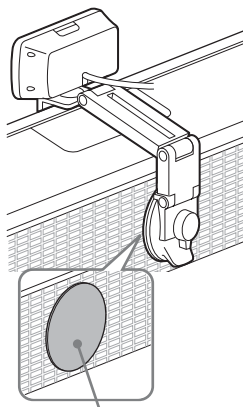
ご注意

- ・モニター用テレビをチルト方向に $\pm 20^\circ$ 以上傾けてご使用になることはできません。(カメラユニットのチルト調節範囲 ($\pm 20^\circ$) を超えてしまいます。)
- ・モニター用テレビによっては高温になる部分があります。できるだけ、高温部を避けて設置してください。

- ・モニター用テレビの通気孔をふさがないように設置してください。
- ・以下のようなモニター用テレビの場合は、吸盤がしっかり吸着しないことがあります。このような場合には、付属のシールをモニター用テレビに貼り付けてから、その上にカメラユニットを取り付けてください。シールを使用しないと、吸盤がしっかりと吸着しないことがあります。また、モニター用テレビが変形したり、破損するおそれがあります。
 - －指で押すと変形するような柔らかい材質の場合
 - －表面のシボ加工（しわや凹凸）が粗い場合
- ・シールの貼り付け位置は慎重に選んでください。
シールは接着力が強いので、モニター用テレビに一度貼り付けると簡単にはがすことができません。無理にはがそうとすると、モニター用テレビが変形したり、破損するおそれがあります。
- ・シールを確実に接着させるため、シールを貼り付けて 24 時間以上経ってからカメラユニットを取り付けてください。

- 一度はがしたシールは、接着力が弱くなっていますので、貼り直しはできません。

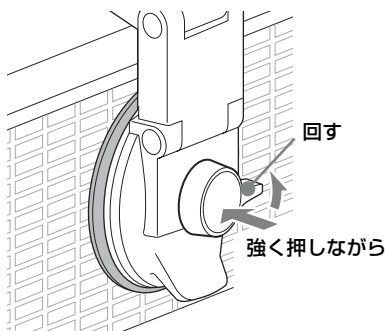
モニター用テレビ背面



付属のシール

3 本機を吸盤で固定する。

吸盤レバーの中央を強く押ししながら、吸盤レバーを図の方向（LOCK 方向）に回します。



ご注意

- 本機を天井や壁に取り付けることはできません。
- 吸盤レバーの中央を押す際の力が弱いと、吸盤レバーのロックが解除してしまうことがあります。その場合、上記の吸盤の固定作業を再度行ってください。

取り外すときは

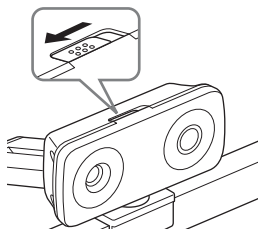
吸盤レバーを、反対の方向（RELEASE 方向）に回します。

ご注意

- 吸盤とモニター用テレビの間に指などを入れて、吸盤を無理にはがさないでください。吸盤の破損の原因となることがあります。
- 本機を取り外したときは、必ず吸盤保護カバーを取り付けてください。吸盤の吸着面が汚れたり、傷がついたりすると、吸盤の吸着力が弱くなることがあります。
- 吸盤の吸着面が汚れたら、柔らかくて毛羽立たない布を湿らせ、なでるようにして汚れを取り除いてください。ただし、以下のご注意をお守りください。
 - 洗剤などは使わない。
 - 次に取り付けるときは、吸着面に湿気が残っていないことを確認してから取り付ける。
 - 故障の原因になるので、モニター用テレビの内部に水分が入らないように注意する。

映像の撮影状態を一時的に停止する

本機のレンズカバー開閉レバーを正面から見て左側にスライドします。



レンズカバーが閉まっているときに会議を行うと、相手側には黒画面が表示されます。

レンズカバーが閉まっているときは、ホーム画面が次のように表示されます。



ご注意

カメラユニットへの電源供給がとだえると、ホーム画面が次のように表示されます。



リモコン操作を行うと、再びカメラユニットに電源が供給されます。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。
それでも具合の悪いときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	カメラケーブルがHD ビジュアルコミュニケーションシステムのCAMERA 端子にしっかり接続されていない。	コミュニケーションシステムの接続を確認してください。
HD ビジュアルコミュニケーションシステムからの操作が正常にできない。	—	コミュニケーションシステムの電源を一度切り、しばらくしてから再度電源を入れ直してください。

仕様

映像信号	720p/30
同期方式	内部同期方式
映像素子	5.7 mm (1/3.2 型)、CMOS 約 800 万画素
レンズ	f = 2.94 mm (35 mm 換算で 22 mm) F2.8 水平画角 80.1° 垂直画角 62.7°
最至近撮影距離	80 mm (WIDE 端)
パン・チルト	水平 ± 20°、垂直 ± 20°、 手動
入力電圧	DC 19.5 V
消費電力	4 W 以下
動作温度	5℃ ～ 35℃
保存温度	-20℃ ～ +60℃
最大外形寸法	116 × 50 × 225 mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約 500 g

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

付属品

吸盤用シール (1)

取扱説明書 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証とアフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間と保証条件

本機の保証期間および保証条件は、販売地域（国内、海外）によって異なることがあります。お手数ですが、お買い上げ店にお問い合わせ、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear side. Record these numbers in the spaces provided below.

Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. PCSA-CXA55

Serial No. _____

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

NOTICE:

This Camera Unit is an accessory and to be used exclusively with PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 HD Visual Communication System.

IMPORTANT

The nameplate is located on the rear side.

For customers in the U.S.A.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This

equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the customers in Europe, Australia and New Zealand

WARNING

This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

In the case that interference should occur, consult your nearest authorized Sony service facility.

This apparatus shall not be used in the residential area.

Table of Contents

Precautions	18
Phenomena Specific to CMOS Image Sensors	19
Features	19
Location and Functions of Parts and Controls	20
Installing the Camera	21
Mounting the Camera on the TV Monitor	21
Temporarily Stopping Image Capture	22
Troubleshooting	23
Specifications	24

Precautions

Operating or storage location

Operating or storing the camera in the following locations may cause damage to the camera:

- Extremely hot or cold places (Operating temperature: 5°C to 35°C [41°F to 95°F])
- Exposed in direct sunlight, or close to heating equipment (e.g., near heaters)
- Close to sources of strong magnetism
- Close to sources of powerful electromagnetic radiation, such as radios or TV transmitters
- Locations subject to vibration or shock

Ventilation

To prevent heat buildup, do not block air circulation around the camera.

Connecting to the Communication System

Do not connect the camera cable to the HD Visual Communication System while the Communication System is turned on. Otherwise, the camera and System may suffer damage, or the picture may not be displayed.

Transportation

When transporting the camera, repack it as originally packed at the factory or in materials equal in quality.

Cleaning the main unit

- Use a blower to remove dust from the lens.
- When the body of the camera is dirty, clean it with a soft cloth that is soaked with a diluted neutral detergent and tightly wrung. Then finish with a dry cloth.
- Do not use any type of solvents, which may damage the finish.
- When you use a chemical cloth, follow its instructions.
- Do not sprinkle volatile matter such as pesticide over your camera nor allow rubber or vinyl to come in contact with the

camera for a long period of time. Doing so may damage the finish.

Maintenance

The camera mechanism may cause abnormal noise due to wear and lubrication loss after a long period of use. To maintain optimum performance, we recommend periodical maintenance. If abnormal noise occurs, consult with your Sony dealer.

Note on laser beams

Laser beams may damage the CMOS. If you shoot a scene that includes a laser beam, be careful not to let a laser beam become directed into the CMOS of the camera.

Phenomena Specific to CMOS Image Sensors

The following phenomena that may appear in images are specific to CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) image sensors. They do not indicate malfunctions.

White flecks

Although the CMOS image sensors are produced with high-precision technologies, fine white flecks may be generated on the screen in rare cases, caused by cosmic rays, etc. This is related to the principle of CMOS image sensors and is not a malfunction.

White flecks tend to be seen particularly in the following cases:

- during operation at a high environmental temperature
- when you have raised the gain (sensitivity)

This phenomena may be improved by turning the camera off and then on again.

Aliasing

When fine patterns, stripes, or lines are shot, they may appear jagged or flicker.

Features

The camera is designed to be used exclusively with the Sony PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 HD Visual Communication System.

The power is supplied to the camera by the HD Visual Communication System. For adjustments and settings of the camera, refer to the Operating Instructions of the PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

CMOS camera with high image quality

The camera unit incorporates 8,000,000 effective picture elements (pixels) that can shoot high-definition images to offer superior picture quality.

Built-in microphone

With a built-in microphone, the camera leaves a small footprint.

Lens cover for when image capture is not required

Hiding the lens with the lens cover allows you to temporarily stop image capture while leaving the system running.

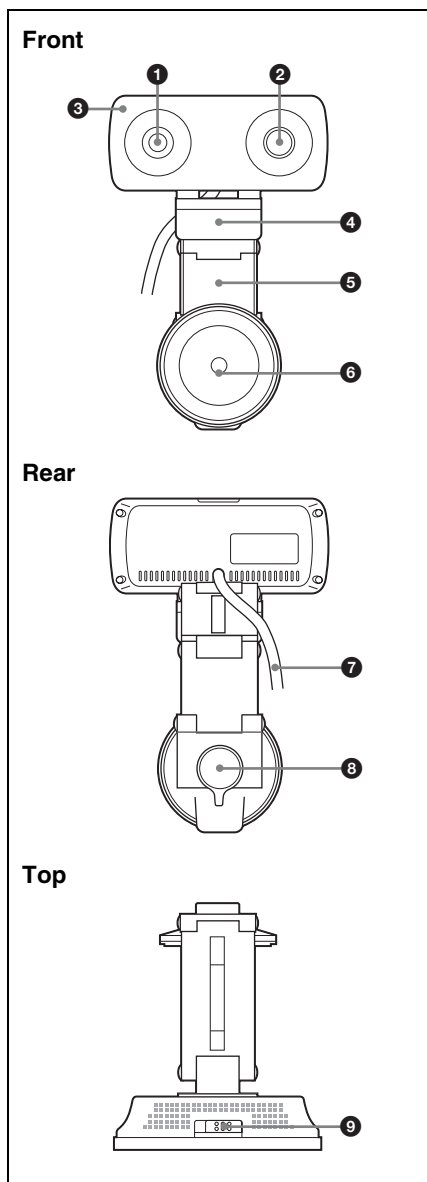
Simple suction cup mounting

Mount the camera to the TV monitor with a single suction cup. The adjustable link arm allows mounting on a wide range TV monitors. (Mounting may not be possible on some TV monitors.)

Video format compatible with HD

The camera allows you to shoot an image using the 720p high definition video format, which is equivalent to an HD-TV broadcast.

Location and Functions of Parts and Controls



1 Lens

3× digital zoom lens.

2 Microphone

Built-in monaural microphone.

3 Tally lamp

Lights when camera images are being sent to the remote party during conferences.

4 Tilt base

Rests on the top of the TV monitor, and supports the camera unit.

5 Link arm

Adjust this so that the suction cup at the bottom aligns properly to the rear of the TV monitor.

6 Suction cup

Attaches to the rear of the TV monitor or to a desk.

If the suction cup does not adhere properly, affix the supplied adhesive disc to the rear of the TV monitor or to the desk beforehand.

7 Connection cable

Connects to the CAMERA connector on the HD Visual Communication System.

8 Suction cup lever

Turn this lever while pressing down hard on it to attach the suction cup. Simply turn the lever to release the suction cup.

9 Lens cover lever

Opens or closes the lens cover.

Installing the Camera

Mounting the Camera on the TV Monitor

Mount this camera unit to the top of the TV monitor.

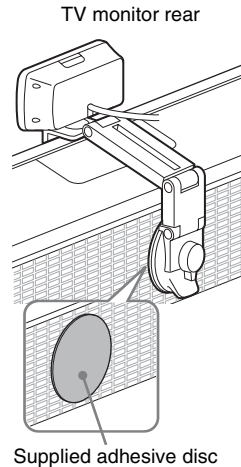
- 1 Remove the protective cover from the suction cup.
- 2 Determine the location to which the suction cup will be attached.
To determine a location for the suction cup, rest the camera unit on the top of the TV monitor, and move the adjustable link arm.

Notes

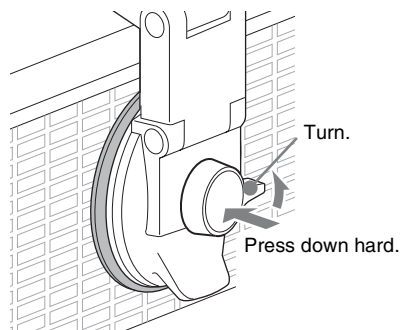
- Do not tilt the TV monitor 20 degrees or more in the forward or back direction. (This will exceed the camera unit's tilt range (± 20 degrees).)
- Depending on the TV monitor model, certain areas may get hot. Avoid these areas when determining a location for mounting.
- Do not obstruct the ventilation holes of the TV monitor when mounting the camera.
- The suction cup may not attach securely on the following types of TV monitors. In such cases, affix the supplied adhesive disc to the TV monitor, and then attach the camera unit to the disc.
If you do not use the adhesive disc, the suction cup may not attach securely, or the TV monitor may be warped or damaged.
 - TV monitors made of soft materials that bend to the touch
 - TV monitors with rough surfaces
- Select the location to affix the adhesive disc carefully.
As the disc is highly adhesive, it cannot be easily removed once it is affixed to the TV monitor. Attempting to remove

the disc with excessive force may warp or damage the TV monitor.

- Wait at least 24 hours for the adhesive disc to fully adhere to the surface before attaching the camera unit to the disc.
- Once removed, the adhesive disc cannot be affixed again, as its adhesive properties are reduced.



- 3 Secure the camera unit to the TV monitor with the suction cup.
While pressing down hard on the center of the suction cup lever, turn it in the direction illustrated (LOCK direction).



Notes

- The camera unit cannot be mounted on ceilings or walls.
- If you do not apply enough pressure when pressing down on the center of the suction cup lever, the suction cup lever may become

unlocked. In such cases, perform the above step for securing the suction cup again.

To release the suction cup

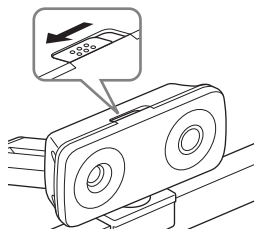
Turn the suction cup lever in the opposite direction (RELEASE direction).

Notes

- Do not forcibly remove the suction cup by inserting your fingers or other objects between the suction cup and the TV monitor. Doing so may damage the suction cup.
- When the camera unit is not mounted, always attach the protective cover to the suction cup. The adhesive strength of the suction cup will decrease if its surface is dirty or scratched.
- If the surface of the suction cup becomes dirty, gently wipe the surface with a soft, non-abrasive cloth that has been moistened with water. In addition, adhere to the following precautions.
 - Do not use detergents and other cleaning solutions.
 - Make sure that the suction cup is completely dry before attaching it again.
 - To prevent damage, do not allow water to enter the inside of the TV monitor.

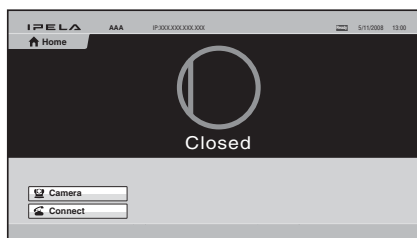
Temporarily Stopping Image Capture

Slide the lens cover lever to the left (when facing the front of the camera unit).



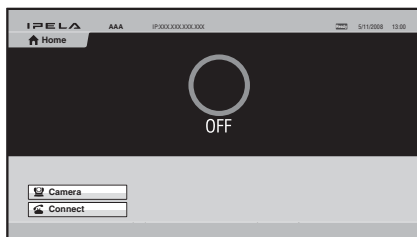
If a conference is conducted with the lens cover closed, only a black screen will be visible to the remote party.

When the lens cover is closed, the Home menu appears as follows.



Note

When the power supply to the camera unit is disabled, the Home menu appears as follows.



Operate the Remote Commander to restore power supply to the camera unit.

Troubleshooting

Before bringing in your camera for service, check the following as a guide to troubleshooting the problem. If the problem cannot be corrected, consult with your Sony dealer.

Symptom	Cause	Remedy
The power of the camera is not turned on.	The camera cable is not inserted firmly to the CAMERA connector on the HD Visual Communication System.	Insert the camera cable firmly into the CAMERA connector on the Communication System.
The HD Visual Communication System cannot control the camera correctly.	—	Turn off the power of the Communication System, and turn it on again after a while.

Specifications

Video signal	720p/30
Synchronization	Internal synchronization
Image device	1/3.2 type (5.7 mm), CMOS Approx. 8,000,000 pixels
Lens	f = 2.94 mm (22 mm in 35 mm equivalent) F2.8 Horizontal angle: 80.1 degrees Vertical angle: 62.7 degrees
Minimum object distance	80 mm (WIDE end)
Pan/tilt action	Horizontal: ±20 degrees, Vertical: ±20 degrees, manual operation
Input voltage	19.5 V DC
Power consumption	4 W or less
Operating temperature	5°C to 35°C (41°F to 95°F)
Storage temperature	-20°C to +60°C (-4°F to +140°F)
Dimensions	116 × 50 × 225 mm (4 5/8 × 2 × 8 7/8 inches) (w/h/d)
Mass	Approx. 500 g (1 lb 2 oz)

Supplied accessories

Adhesive disc for suction cup (1)
Operating Instructions (1)

Design and specifications are subject to
change without notice.

Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sur l'arrière.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.

Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Pour les utilisateurs en Europe, Australie et Nouvelle-Zélande

AVERTISSEMENT

Il s'agit d'un produit Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.

Si des interférences se produisent, contactez votre service après-vente agréé Sony.

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

Table de matières

Précautions	28
Phénomènes spécifiques aux capteurs d'images CMOS	29
Caractéristiques	29
Emplacement et fonction des composants et des commandes	30
Installation de la caméra	31
Montage de la caméra sur l'écran TV	31
Arrêt temporaire de la capture d'image	32
Dépannage	33
Spécifications	34

Précautions

Lieu d'utilisation et de rangement

L'utilisation ou le rangement de la caméra dans les endroits suivants peut provoquer des dégâts à la caméra :

- Endroits extrêmement chauds ou froids (température de service : 5°C à 35°C [41°F à 95°F])
- Exposés au rayonnement direct du soleil ou à proximité d'un système de chauffage (par ex. près des radiateurs)
- Près de puissantes sources magnétiques
- Proches de sources de puissantes radiations électromagnétiques, comme des transmetteurs de radio ou de télévision
- Endroits soumis à des vibrations ou des chocs

Ventilation

Pour prévenir toute surchauffe interne, n'entravez pas la circulation de l'air autour de la caméra.

Connexion au système de communication

Ne raccordez pas le câble de caméra au Système de communication visuel HD pendant que le Système de communication est sous tension. Faute de quoi, il se peut que la caméra et le Système soient endommagés ou que l'image ne s'affiche pas.

Transport

Pour transporter la caméra, remballiez-la dans son conditionnement d'origine ou dans des matériaux de qualité équivalente.

Nettoyage de l'unité principale

- Utilisez un ventilateur pour éliminer la poussière de l'objectif.
- Si le corps de la caméra est sale, nettoyez-le au moyen d'un chiffon doux imbibé d'un détergent neutre dilué et bien essoré. Puis terminez à l'aide d'un chiffon sec.
- N'utilisez aucun solvant qui pourrait endommager la finition.

- Lorsque vous utilisez un chiffon chimique, lisez les instructions d'utilisation.
- Ne diffusez pas de matière volatile telle qu'un pesticide au-dessus de votre caméra et veillez à ce qu'aucun objet en caoutchouc ou en vinyle ne soit en contact prolongé avec la caméra. Ceci risquerait d'endommager la finition.

Entretien

Il se peut que le mécanisme de la caméra produise un bruit anormal causé par l'usure ou le manque de graissage suite à une utilisation prolongée. Pour une performance optimale constante, nous préconisons un entretien périodique. En cas de bruit anormal, consultez votre revendeur Sony.

Remarque concernant les faisceaux laser

Les faisceaux laser peuvent endommager un capteur d'image CMOS. Notez que la surface d'un capteur d'image CMOS ne doit pas être exposée au rayonnement d'un faisceau laser dans un environnement où un appareil à faisceau laser est utilisé.

Phénomènes spécifiques aux capteurs d'images CMOS

Les phénomènes suivants qui peuvent apparaître dans des images sont spécifiques aux capteurs d'images CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor). Ils ne sont pas un signe de mauvais fonctionnement.

Mouchetures blanches

Bien que les capteurs CMOS soient produits au moyen de technologies à haute précision, il se peut dans de rares cas que des mouchetures blanches apparaissent sur l'écran, provoquées par des rayons cosmiques, etc. Ce phénomène est lié au principe des capteurs d'image CMOS et n'est pas signe de mauvais fonctionnement.

Les mouchetures blanches ont surtout tendance à se manifester dans les cas suivants :

- pendant l'utilisation sous haute température
- lorsque vous avez augmenté le gain (la sensibilité)

Il est possible d'améliorer ce phénomène en mettant la caméra hors tension, puis de nouveau sous tension.

Crénelage

Lorsque des rayures ou des lignes fines sont filmées, elles peuvent apparaître dentelées ou peuvent clignoter.

Caractéristiques

La caméra est conçue pour une utilisation exclusive avec le Système de communication visuel HD PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 Sony. L'alimentation de la caméra se fait via le Système de communication visuel HD. Pour les réglages et paramétrages de la caméra, reportez-vous au Mode d'emploi du PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

Caméra CMOS à image de haute qualité

La caméra comporte 8 000 000 éléments d'image effectifs (pixels) permettant de filmer des images haute définition et d'offrir une qualité supérieure d'image.

Micro intégré

Avec un micro intégré, la caméra laisse une petite surface de bruit.

Cache objectif lorsque la capture d'image n'est pas nécessaire

Masquer l'objectif avec le cache objectif vous permet d'arrêter temporairement la capture d'image pendant que le système continue de fonctionner.

Montage du capuchon de fixation simple

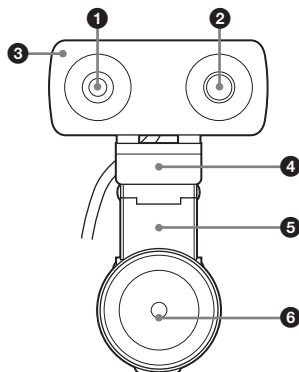
Montez la caméra sur l'écran TV avec un capuchon de fixation simple. Le bras de liaison ajustable permet le montage sur une grande variété d'écrans TV. (A l'exception de certains écrans TV avec lesquels le montage peut ne pas être possible).

Format vidéo compatible HD

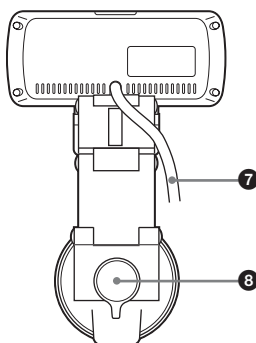
La caméra vous permet de filmer une image au format vidéo haute définition 720p qui équivaut à une diffusion TV HD.

Emplacement et fonction des composants et des commandes

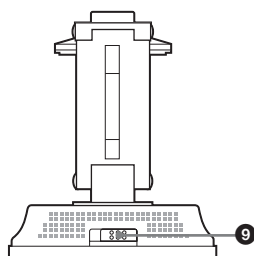
Avant



Arrière



Dessus



1 Objectif

Objectif avec zoom numérique 3x.

2 Microphone

Microphone intégré de type monaural.

3 Lampe témoin

S'allume lorsque les images de la caméra sont envoyées au correspondant pendant les conférences.

4 Base inclinable

Se met sur l'écran TV pour poser la caméra dessus.

5 Bras de liaison

Réglez ce bras pour aligner correctement le capuchon de fixation à l'arrière de l'écran TV.

6 Capuchon de fixation

Se fixe à l'arrière de l'écran TV ou sur un bureau.

Si le capuchon de fixation n'adhère pas correctement, fixez à l'avance le disque adhésif fourni à l'arrière de l'écran TV ou au bureau.

7 Câble de connexion

Permet de raccorder le connecteur CAMERA du système de communication visuel HD.

8 Levier du capuchon de fixation

Tournez ce levier tout en appuyant fort dessus pour fixer le capuchon de fixation. Tournez simplement le levier pour relâcher le capuchon de fixation.

9 Levier du cache objectif

Permet d'ouvrir ou de fermer le cache objectif.

Installation de la caméra

Montage de la caméra sur l'écran TV

Montez la caméra sur le dessus de l'écran TV.

- 1 Retirez le couvercle de protection du capuchon de fixation.
- 2 Déterminez l'emplacement sur lequel le capuchon de fixation sera fixé.
Pour déterminer l'endroit où placer le capuchon de fixation, posez la caméra sur le dessus de l'écran TV et déplacez le bras de liaison ajustable.

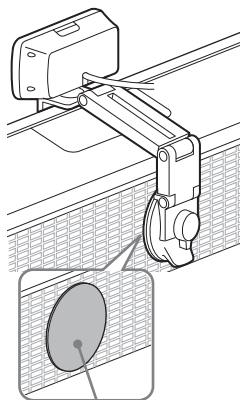
Remarques

- Ne basculez pas l'écran TV de 20 degrés ou plus vers l'avant ou l'arrière. (Ceci dépasse la plage de basculement de la caméra (± 20 degrés).)
- En fonction du modèle de l'écran, certains endroits risquent de chauffer. Evitez ces endroits lors du choix de l'emplacement de montage.
- Ne bouchiez pas les fentes de ventilation lors du montage de la caméra.
- Le capuchon de fixation risque de ne pas se fixer correctement sur les types suivants d'écrans TV. Dans ce cas, fixez le disque adhésif fourni sur l'écran TV, puis la caméra sur le disque.
Si vous n'utilisez pas le disque adhésif, le capuchon de fixation risque de ne pas être fixé correctement ou bien le téléviseur risque d'être déformé ou endommagé.
 - Ecrans TV fabriqués en matériau mou pouvant se plier au toucher
 - Ecrans TV avec des surfaces rugueuses
- Sélectionnez l'emplacement pour fixer avec précaution le disque adhésif. Comme le disque est très adhésif, il ne peut être facilement retiré une fois fixé sur l'écran TV. Si vous tentez de retirer

le disque en forçant, vous risquez de déformer ou d'endommager l'écran TV.

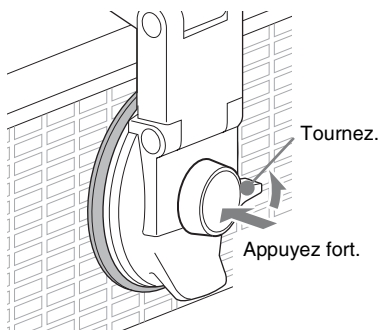
- Attendez au moins 24 heures pour que le disque adhésif adhère complètement à la surface avant de fixer la caméra au disque.
- Une fois retiré, le disque ne peut être de nouveau fixé car ses propriétés adhésives sont réduites.

Dos de l'écran TV



Disque adhésif fourni

- 3 Sécurisez la caméra sur l'écran TV à l'aide du capuchon de fixation.
Tout en appuyant fort sur le centre du levier du capuchon de fixation, tournez-le dans le sens illustré (vers LOCK).



Remarques

- La caméra ne peut être montée au plafond ou sur les murs.
- Si vous n'appuyez pas assez fort au centre du levier du capuchon de fixation, ce dernier

risque de se déverrouiller. Dans ce cas, effectuez l'étape ci-dessus pour fixer de nouveau le capuchon de fixation.

Pour libérer le capuchon de fixation

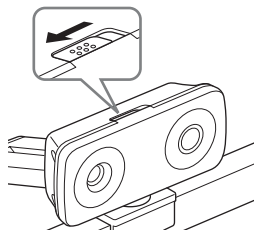
Tournez le levier du capuchon de fixation dans le sens opposé (sens RELEASE).

Remarques

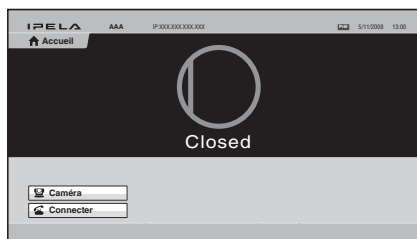
- Ne forcez pas pour retirer le capuchon de fixation en insérant vos doigts ou tout autre objet entre le capuchon de fixation et l'écran TV, au risque d'endommager le capuchon de fixation.
- Lorsque la caméra n'est pas montée, fixez toujours le couvercle de protection au capuchon de fixation. Le pouvoir adhésif du capuchon de fixation diminue si sa surface est sale ou rayée.
- Si la surface du capuchon de fixation devient sale, nettoyez-la doucement avec un chiffon doux, non abrasif humidifié avec de l'eau. De plus, prenez les précautions suivantes.
 - N'utilisez pas des détergents ou tout autre agent nettoyant.
 - Vérifiez que le capuchon de fixation est bien sec avant de le fixer de nouveau.
 - Pour éviter tout dommage, évitez que l'eau ne s'infiltre à l'intérieur de l'écran TV.

Arrêt temporaire de la capture d'image

Faites glisser le levier du cache objectif vers la gauche (lorsque vous regardez la caméra de front).



Si une conférence est menée avec le cache objectif fermé, un écran noir sera visible pour le correspondant à distance. Lorsque le cache d'objectif est fermé, le menu Accueil s'affiche comme suit.



Remarque

Lorsque l'alimentation de la caméra est coupée, le menu Accueil s'affiche comme suit.



Utilisez la télécommande pour restaurer l'alimentation de la caméra.

Dépannage

Avant de faire réparer votre caméra, lisez le guide de dépannage suivant. Si le problème persiste, consultez votre revendeur Sony.

Symptôme	Cause	Remède
La caméra n'est pas sous tension.	Le câble de caméra n'est pas inséré fermement dans le connecteur CAMERA du Système de communication visuel HD.	Insérez le câble de caméra fermement dans le connecteur CAMERA du Système de communication.
Le Système de communication visuel HD ne peut pas commander la caméra correctement.	—	Mettez le Système de communication hors tension, puis remettez-le sous tension au bout d'un certain temps.

Spécifications

Signal vidéo	720p/30
Synchronisation	Synchronisation interne
Dispositif d'image	Type 1/3,2 (5,7 mm), CMOS Approx. 8 000 000 pixels
Objectif	f = 2,94 mm (22 mm en 35 mm équivalent) F2,8 Angle horizontal : 80,1 degrés Angle vertical : 62,7 degrés
Distance minimale de l'objet	80 mm (extrémité WIDE)
Mouvement de panoramique/inclinaison	Horizontal : ± 20 degrés, Vertical : ± 20 degrés, opération manuelle
Tension d'entrée	19,5 V CC
Consommation électrique	4 W ou moins
Température de fonctionnement	5°C à 35°C (41°F à 95°F)
Température de stockage	-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Dimensions	116 × 50 × 225 mm (4 ⁵ / ₈ × 2 × 8 ⁷ / ₈ pouces) (l/h/p)
Poids	Approx. 500 g (1 lb. 2 oz.)

Accessoires fournis

Disque adhésif pour le capuchon de fixation (1)
Mode d'emploi (1)

Présentation et caractéristiques susceptibles
d'être modifiées sans préavis.

Remarque

Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WICHTIG

Das Typenschild befindet sich auf der Rückseite.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Für Kunden in Europa, Australien und Neuseeland

WARNUNG

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen. Sollten Funkstörungen auftreten, wenden Sie sich bitte an den nächsten autorisierten Sony-Kundendienst. Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.

Inhalt

Vorsichtsmaßnahmen	38
CMOS-Bildsensoren kennzeichnende Phänomene	39
Merkmale	39
Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente	40
Kamera installieren	41
Befestigen der Kamera am Fernseh-Monitor	41
Zeitweilige Unterbrechung der Bildaufzeichnung	43
Fehlerbehebung	44
Spezifikationen	45

Vorsichtsmaßnahmen

Betriebs- und Lagerumgebung

Benutzen und lagern Sie die Kamera nicht an Orten, an denen sie folgenden Bedingungen ausgesetzt ist. Andernfalls kann die Kamera beschädigt werden.

- Extremer Hitze oder Kälte (Betriebstemperatur: 5°C bis 35°C)
- Direktem Sonnenlicht oder dem Einfluß von Wärmequellen wie z. B. Heizungen
- Orte in der Nähe starker Magnetfelder
- Orte in der Nähe von Quellen starker elektromagnetischer Strahlung wie z. B. Radio- oder Fernsehsender
- Orte, die Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind

Ventilation

Um einen Wärmestau zu verhindern, darf die Luftzirkulation um die Kamera nicht blockiert werden.

Anschließen an das Kommunikationssystem

Verbinden Sie das Kamerakabel nur dann mit dem HD Visual Kommunikationssystem, wenn das Kommunikationssystem ausgeschaltet ist. Andernfalls können sowohl die Kamera als auch das System beschädigt werden oder es erscheint kein Bild.

Transport

Verpacken Sie die Kamera zum Transportieren wieder in der Original- oder in einer gleichartigen Verpackung.

Reinigen des Hauptgeräts

- Verwenden Sie Druckluft, um das Objektiv von Staub zu reinigen.
- Wenn das Gehäuse verschmutzt ist, wischen Sie es mit einem weichen, mit einem verdünnten neutralen Reiniger befeuchteten und gut ausgewrungenem Tuch ab. Reiben Sie es dann mit einem trockenen Tuch ab.

- Verwenden Sie keine Lösungsmittel, da diese die Oberfläche angreifen.
- Beachten Sie bei der Verwendung chemischer Reinigungstücher stets die Anweisungen.
- Achten Sie darauf, dass die Kamera nicht mit Sprühmitteln wie z. B. Pestiziden oder über einen längeren Zeitraum mit Gummi oder Kunststoff in Kontakt kommt. Dadurch kann die Oberfläche beschädigt werden.

Wartung

Der Kameramechanismus kann nach einer längeren Nutzungsperiode aufgrund von Abnutzungserscheinungen und Schmiermittelverlust ungewöhnliche Geräusche verursachen. Um einen optimalen Betrieb zu gewährleisten, empfiehlt es sich, eine regelmäßige Wartung durchzuführen. Wenden Sie sich bei ungewöhnlichen Geräuschen an Ihren Sony-Händler.

Hinweis zu Laserstrahlen

Laserstrahlen können einen CMOS-Bildsensor beschädigen. Wir warnen davor, die Oberfläche eines CMOS-Bildsensors in einer Umgebung, in der ein Lasergerät verwendet wird, Laserstrahlung auszusetzen.

CMOS-Bildsensoren kennzeichnende Phänomene

Die folgenden Erscheinungen, die in Bildern auftreten können, sind typisch für CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor)-Bildsensoren. Sie stellen keine Fehlfunktion dar.

Weiße Punkte

Obwohl CMOS-Bildsensoren mit Hochpräzisionstechnologie hergestellt werden, könnten in seltenen Fällen kleine weiße Punkte auf der Anzeige erscheinen, die auf kosmische Strahlung, usw. zurückzuführen sind. Dies liegt an der Funktionsweise der CMOS-Bildsensoren und ist keine Fehlfunktion.

Weiße Punkte erscheinen vor allem in folgenden Fällen:

- beim Betrieb bei hoher Umgebungstemperatur
- bei Erhöhung der Verstärkung (Empfindlichkeit)

Dieses Phänomen kann verbessert werden, indem Sie die Kamera aus- und wieder einschalten.

Treppeneffekt

Wenn feine Muster, Streifen- oder Linienmuster aufgenommen werden, erscheinen diese möglicherweise treppenförmig oder flimmernd.

Merkmale

Die Kamera ist für die alleinige Verwendung mit dem visuellen HD-Kommunikationssystem Sony PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 vorgesehen. Die Spannungsversorgung der Kamera erfolgt durch das visuelle HD-Kommunikationssystem. Hinweise zur Bedienung und Einstellung der Kamera finden Sie in der Bedienungsanleitung des PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

CMOS-Kamera mit hoher Bildqualität

Die mit 8.000.000 effektiven Bildelementen (Pixeln) ausgestattete Kamera erzielt hochauflösende Bilder in hervorragender Qualität.

Integriertes Mikrofon

Durch das integrierte Mikrofon weist die Kamera nur einen geringen Platzbedarf auf.

Objektivabdeckung zum Verschließen des Objektivs

Durch Verschließen des Objektivs mit der Objektivabdeckung kann die Bildaufzeichnung bei laufendem System zeitweilig unterbrochen werden.

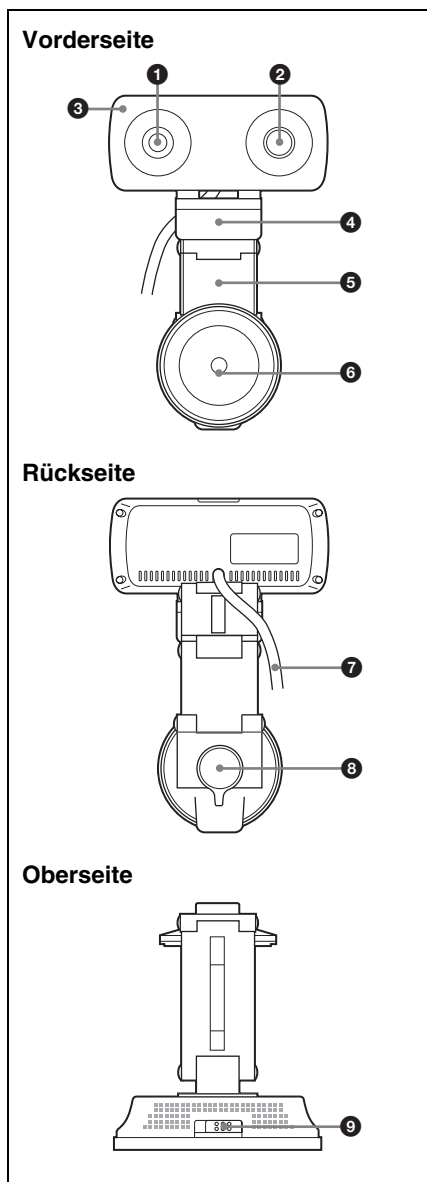
Einfache Befestigung mittels Saugnapf

Befestigen Sie die Kamera mit einem einzelnen Saugnapf am Fernsehmonitor an. Mit dem einstellbaren Gelenkarm kann die Kamera an einer Vielzahl von Fernsehmonitoren angebracht werden. (Bei einigen Fernsehmonitoren ist die Montage ggf. nicht möglich.)

HD-kompatible Videoformat

Mit dieser Kamera können Bildaufnahmen im 720p High-Definition-Videoformat erstellt werden, vergleichbar mit der HDTV-Übertragungsqualität.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente



1 Objektiv

Dies ist ein Objektiv mit 3fachem digitalem Zoom.

2 Mikrofon

Dies ist ein integriertes Mono-Mikrofon.

3 Tally-Anzeige

Leuchtet, wenn während einer Konferenz Kamerabilder an den Fernteilnehmer übertragen werden.

4 Schwenkträger

Der Schwenkträger wird auf dem Fernsehmonitor platziert und trägt die Kamera.

5 Verbindungsarm

Stellen Sie den Arm so ein, dass der Saugnapf an der Unterseite richtig auf die Rückseite des Fernsehmonitors ausgerichtet ist.

6 Saugnapf

Wird auf der Rückseite des Fernsehmonitors oder an einem Schreibtisch angebracht. Falls der Saugnapf nicht richtig haftet, bringen Sie die mitgelieferte Klebescheibe vorher an der Rückseite des Fernsehmonitors oder auf dem Schreibtisch an.

7 Verbindungskabel

Dieses Kabel wird mit dem Anschluss CAMERA am HD-Video kommunikationssystem verbunden.

8 Saugnapfhebel

Um den Saugnapf anzubringen, drücken Sie fest auf diesen Hebel und drehen diesen dann. Um den Saugnapf wieder zu lösen, drehen Sie den Hebel entgegengesetzt.

9 Hebel der Objektivabdeckung

Mit diesem Hebel wird die Objektivabdeckung geöffnet und geschlossen.

Kamera installieren

Befestigen der Kamera am Fernseh-Monitor

Bringen Sie diese Kameraeinheit oben am Fernsehmonitor an.

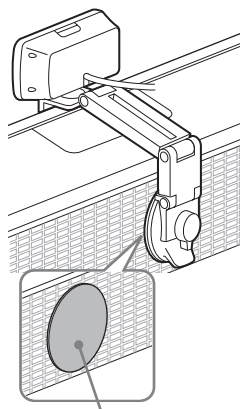
- 1 Entfernen Sie die Schutzabdeckung vom Saugnapf.
- 2 Legen Sie die Stelle fest, an welcher der Saugnapf angebracht werden soll. Um die Position für den Saugnapf zu bestimmen, legen Sie die Kamera auf den Fernsehmonitor, und bewegen Sie den Gelenkarm.

Hinweise

- Neigen Sie den Fernsehmonitor nicht 20 Grad oder mehr nach vorne oder hinten. (Dies würde den maximalen Neigebereich der Kamera (± 20 Grad) überschreiten.)
- Abhängig vom Modell des Fernsehmonitors können bestimmte Bereiche erwärmt werden. Bringen Sie den Saugnapf nicht in diesen Bereichen an.
- Halten Sie beim Anbringen der Kamera die Belüftungsöffnungen des Fernsehmonitors frei.
- Der Saugnapf haftet nicht sicher auf Fernsehmonitoren der nachfolgend aufgeführten Typen. Bringen Sie in diesen Fällen den mitgelieferten runden Aufkleber am Fernsehmonitor an, und bringen Sie dann die Kameraeinheit auf diesem Aufkleber an.
Falls Sie den Aufkleber nicht verwenden, haftet der Saugnapf möglicherweise nicht sicher, oder der Fernsehmonitor wird verformt oder beschädigt.
 - Fernsehmonitore aus weichem Material, was sich bei Berührung verformt
 - Fernsehmonitore mit rauen Oberflächen

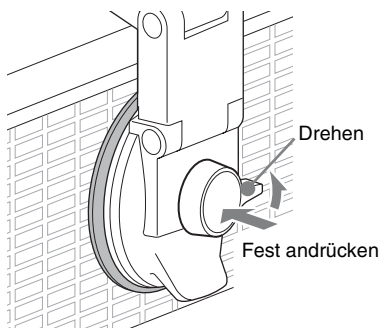
- Wählen Sie die Stelle zum Anbringen des Aufklebers sorgfältig aus. Da der Aufkleber eine hohe Klebkraft besitzt, ist er nachträglich nur schwer zu entfernen. Wenn er mit übermäßiger Kraft entfernt wird, kann der Fernsehmonitor dadurch verformt oder beschädigt werden.
- Lassen Sie die Klebescheibe mindestens 24 Stunden ihre Klebkraft auf der Oberfläche entfalten, bevor Sie die Kamera auf der Klebescheibe anbringen.
- Wenn die Klebescheibe einmal entfernt wurde, kann sie nicht erneut angebracht werden, da ihre Hafteigenschaften dann beeinträchtigt sind.

Rückseite des Fernsehmonitors



Aufkleber (beiliegend)

- 3** Bringen Sie die Kamera mit Hilfe des Saugnapfs am Fernsehmonitor an. Drücken Sie fest auf die Mitte des Saugnapfhebels, und drehen Sie den Hebel währenddessen wie abgebildet (in Richtung „LOCK“).



- Verwenden Sie keine Reinigungsmittel oder andere Substanzen.
- Stellen Sie vor dem erneuten Anbringen des Saugnapfs sicher, dass dieser vollständig trocken ist.
- Achten Sie darauf, dass kein Wasser in den Fernsehmonitor gelangt. Andernfalls kann dieser beschädigt werden.

Hinweise

- Die Kamera kann nicht an Wänden oder Decken montiert werden.
- Wenn Sie beim Anbringen des Saugnapfs nicht genügend stark auf die Mitte des Saugnapfhebels drücken, kann sich der Saugnapfhebel eventuell lösen. Führen Sie in einem solchen Fall die Schritte zum Anbringen des Saugnapfs aus.

Lösen des Saugnapfs

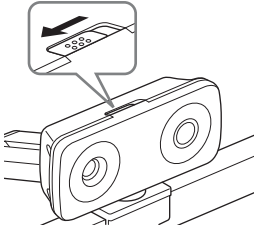
Drehen Sie den Hebel des Saugnapfs in die entgegengesetzte Richtung (Richtung RELEASE).

Hinweise

- Entfernen Sie den Saugnapf nicht mit Gewalt, indem Sie Gegenstände oder Ihre Finger zwischen Saugnapf und Fernsehmonitor führen. Andernfalls kann der Saugnapf beschädigt werden.
- Wenn die Kameraeinheit nicht angebracht ist, setzen Sie stets die Schutzabdeckung auf den Saugnapf. Die Haftkraft des Saugnapfs wird beeinträchtigt, wenn dessen Oberfläche verschmutzt oder zerkratzt ist.
- Falls die Oberfläche des Saugnapfs verschmutzt ist, wischen Sie diese sanft mit einem weichen, mit Wasser befeuchteten scheuerfreien Tuch ab. Beachten Sie auch die folgenden Hinweise.

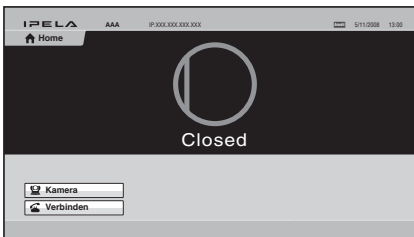
Zeitweilige Unterbrechung der Bildaufzeichnung

Schieben Sie den Hebel der Objektivabdeckung nach links (von der Vorderseite der Kamera gesehen).



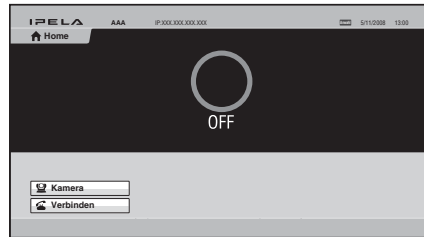
Wenn eine Konferenz bei geschlossener Objektivabdeckung oder ausgeschalteter Kamera durchgeführt wird, sieht der Fernteilnehmer nur einen schwarzen Bildschirm.

Wenn die Objektivabdeckung geschlossen ist, wird das Home-Menü folgendermaßen angezeigt.



Hinweis

Wenn die Stromversorgung der Kamera unterbrochen ist, wird das Home-Menü folgendermaßen angezeigt.



Stellen Sie die Stromversorgung der Kamera mit dem Remote Commander wieder her.

Fehlerbehebung

Führen Sie folgende Maßnahmen zur Fehlerbehebung durch, bevor Sie die Kamera zur Reparatur bringen. Kann das Problem dadurch nicht beseitigt werden, wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler.

Symptom	Ursache	Maßnahme
Die Kamera ist nicht eingeschaltet.	Das Kamerakabel ist nicht richtig im Anschluss CAMERA am visuellen HD-Kommunikationssystem angeschlossen.	Stecken Sie das Kamerakabel fest in den Kommunikationssystemanschluss CAMERA ein.
Die Kamera kann vom visuellen HD-Kommunikationssystem nicht richtig gesteuert werden.	—	Schalten Sie das Kommunikationssystem aus und dann nach kurzer Zeit wieder ein.

Spezifikationen

Videosignal	720p/30
Synchronisation	Interne Synchronisation
Bildgerät	1/3,2-Typ (5,7 mm), CMOS Ca. 8.000.000 Pixel
Objektiv	f = 2,94 mm (22 mm im 35-mm- Äquivalent) F2,8 Horizontaler Winkel: 80,1 Grad Vertikaler Winkel: 62,7 Grad
Minimale Aufnahmeentfernung	80 mm (WIDE)
Schwenk-/Neigebereich	Horizontal: ± 20 Grad, Vertikal: ± 20 Grad, manuell
Spannungsversorgung	19,5 V DC
Stromverbrauch	4 W oder weniger
Betriebstemperatur	5°C bis 35°C
Lagertemperatur	-20°C bis +60°C
Abmessungen	116 × 50 × 225 mm (B × H × T)
Gewicht	Ca. 500 g

Mitgeliefertes Zubehör

Klebescheibe für Saugnapf (1)
Bedienungsanleitung (1)

Änderungen, die dem technischen
Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer,
dass das Gerät richtig arbeitet. SONY
KANN KEINE HAFTUNG FÜR
SCHÄDEN JEDER ART,
EINSCHLIESSLICH ABER NICHT
BEGRENZT AUF KOMPENSATION
ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND
VON VERLUST VON AKTUELLEN
ODER ERWARTETEN PROFITEN
DURCH FEHLFUNKTION DIESES
GERÄTS ODER AUS JEGlichem
ANDEREN GRUND, ENTWEDER
WÄHREND DER GARANTIEFRIST
ODER NACH ABLAUF DER
GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

IMPORTANTE

La placa de características se encuentra en la parte posterior.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.

El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Para los clientes de Europa, Australia y Nueva Zelanda

ADVERTENCIA

Éste es un producto de clase A. En un ambiente doméstico, este producto puede causar interferencias radioeléctricas, en cuyo caso el usuario puede tener que tomar las medidas adecuadas.

En el caso de producirse interferencias, póngase en contacto con el centro de servicio técnico Sony autorizado más cercano.

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.

Contenido

Precauciones	48
Fenómenos específicos de los sensores de imagen CMOS	49
Características	49
Ubicación y funciones de componentes y controles	50
Instalación de la cámara	51
Montaje de la cámara en el monitor de TV	51
Detención temporal de la captura de imágenes	53
Solución de problemas	54
Especificaciones	55

Precauciones

Lugar de funcionamiento o almacenamiento

La cámara puede resultar dañada si se utiliza o almacena en alguna de las condiciones siguientes:

- Lugares extremadamente fríos o cálidos (temperatura de funcionamiento: 5°C a 35°C [41°F a 95°F])
- Lugares expuestos a la luz solar directa o cerca de equipos de calefacción (por ejemplo, radiadores)
- Cerca de fuentes de magnetismo intenso
- Cerca de fuentes de radiación electromagnética intensa, como radios o transmisores de TV
- Lugares sujetos a golpes o vibraciones

Ventilación

Para evitar el recalentamiento interno, no bloquee la circulación de aire alrededor de la cámara.

Conexión del Sistema de comunicación

No conecte el cable de la cámara al Sistema de comunicación visual HD mientras el Sistema de comunicación esté activado. De lo contrario, la cámara y el sistema podrían sufrir daños o la imagen podría no visualizarse.

Transporte

Para transportar la cámara, vuelva a embalarla tal como la recibió de fábrica o con materiales de calidad equivalente.

Limpieza de la unidad principal

- Utilice un soplador para eliminar el polvo del objetivo.
- Si el cuerpo de la cámara está sucio, límpielo con un paño suave humedecido con detergente neutro diluido y retorciéndolo bien. A continuación, pase un paño seco.
- No utilice ningún tipo de disolvente, ya que pueden dañar el acabado.

- Si se utiliza un paño de limpieza con productos químicos, siga sus instrucciones.
- No pulverice la cámara con productos volátiles como pesticidas ni permita que entre en contacto con productos de goma o de vinilo durante un periodo prolongado de tiempo. Si lo hace, el acabado puede resultar dañado.

Mantenimiento

El mecanismo de la cámara podría ocasionar ruido anormal debido al desgaste y pérdida de lubricación después de un largo periodo de utilización. Para mantener un óptimo rendimiento, recomendamos un mantenimiento periódico. Si se produce ruido anormal, consulte con su distribuidor Sony.

Nota sobre los haces de láser

Los haces de láser pueden dañar un sensor de imagen CMOS. Se le recomienda que la superficie de un sensor de imagen CMOS no esté expuesta a la radiación de los haces de láser en un entorno donde se use un dispositivo de haces de láser.

Fenómenos específicos de los sensores de imagen CMOS

Los fenómenos siguientes que pueden aparecer en las imágenes son propios de los sensores de imagen CMOS (Metal Óxido Semiconductor Complementario). No indican errores de funcionamiento.

Motas blancas

Aunque los sensores de imagen CMOS se fabrican con tecnologías de alta precisión, es posible que, en raras ocasiones, se generen finas motas blancas en la pantalla causadas por rayos cósmicos, etc. Esto está relacionado con el principio de los sensores de imagen CMOS y no se trata de un error de funcionamiento.

Las motas blancas tienden a ser visibles particularmente en los casos siguientes:

- durante el funcionamiento a altas temperaturas ambiente
- al alcanzar la ganancia (sensibilidad)

El fenómeno se puede mejorar apagando la cámara y volviéndola a encender.

Efecto moaré

Cuando se filman patrones finos, rayas o líneas, éstas pueden aparecer distorsionadas o parpadeando.

Características

La cámara está diseñada para su uso exclusivo con el Sistema de comunicación visual HD PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 Sony.

La cámara recibe la alimentación a través del Sistema de comunicación visual HD. Para los ajustes y configuración de la cámara, remítase al Manual de instrucciones del PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

Cámara CMOS con alta calidad de imagen

La cámara incorpora 8.000.000 de elementos de imagen efectivos (píxeles) que pueden filmar imágenes de alta definición para ofrecer una calidad de imagen superior.

Micrófono incorporado

Con un micrófono incorporado, la cámara ocupa un espacio pequeño.

Tapa del objetivo para cuando no necesite capturar imágenes

Si oculta el objetivo con la tapa del objetivo podrá detener temporalmente la captura de imágenes mientras deja el sistema en funcionamiento.

Sencillo montaje mediante una ventosa

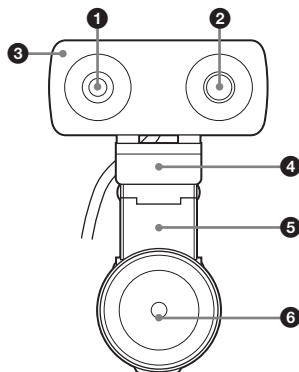
Monte la cámara en el monitor de TV con una única ventosa. El brazo de conexión ajustable permite el montaje en una amplia gama de monitores de TV. (Es posible que el montaje no pueda realizarse en determinados monitores de TV).

Formato de vídeo compatible con HD

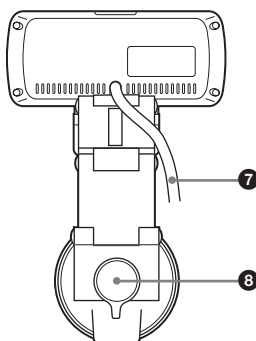
La cámara le permite filmar una imagen utilizando el formato de vídeo de alta definición 720p, que es equivalente a la difusión de televisión HD.

Ubicación y funciones de componentes y controles

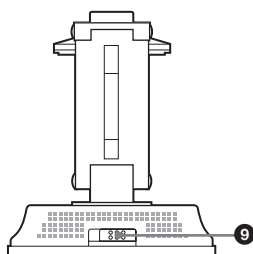
Parte frontal



Parte posterior



Parte superior



1 Objetivo

Objetivo con zoom óptico de 3 aumentos.

2 Micrófono

Micrófono incorporado monoaural.

3 Indicador

Se ilumina cuando se están enviando imágenes de cámara a la ubicación remota durante una conferencia.

4 Base inclinable

Se coloca en la parte superior del monitor de TV y sostiene la cámara.

5 Brazo de conexión

Ajuste este brazo para que la ventosa de la parte inferior quede alineada correctamente en la parte posterior del monitor de TV.

6 Ventosa

Se fija en la parte trasera del monitor de TV o en un escritorio.

Si la ventosa no se adhiere correctamente, fije el disco adhesivo suministrado a la parte trasera del monitor de TV o al escritorio de antemano.

7 Cable de conexión

Se conecta al conector CAMERA del sistema de comunicación visual HD.

8 Palanca de la ventosa

Gire esta palanca al mismo tiempo que la presiona con fuerza para fijar la ventosa. Tan solo tendrá que girar la palanca para liberar la copa de succión.

9 Palanca de la tapa del objetivo

Permite abrir o cerrar la tapa del objetivo.

Instalación de la cámara

Montaje de la cámara en el monitor de TV

Monte la unidad de cámara en la parte superior del monitor de TV.

1 Retire la cubierta protectora de la ventosa.

2 Determine la ubicación en la que colocará la ventosa.

Si desea determinar una ubicación para la ventosa, deje la unidad de cámara apoyada sobre la parte superior del monitor de TV y mueva el brazo de conexión ajustable.

Notas

- No incline el monitor de TV más de 20 grados, ni en dirección hacia delante ni hacia atrás. (Este valor superaría el rango de inclinación de la unidad de cámara (que es de ± 20 grados)).
- En función del modelo de monitor de TV, es posible que determinadas áreas se calienten. Evítelas cuando determine una ubicación de montaje.
- No obstruya los orificios de ventilación del monitor de TV cuando instale la cámara.

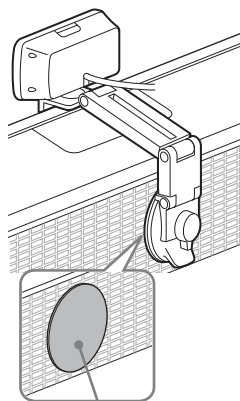
- Es posible que la ventosa no se acople firmemente en los siguientes tipos de monitor de TV. En tales casos, fije el disco adhesivo suministrado al monitor de TV y, a continuación, acople la unidad de cámara al disco.

Si no utiliza el disco adhesivo, es posible que la ventosa no se acople firmemente, o bien, que el monitor de TV se combe o resulte dañado.

- Monitores de TV fabricados con materiales blandos que se curvan al tacto
- Monitores de TV con superficies rugosas

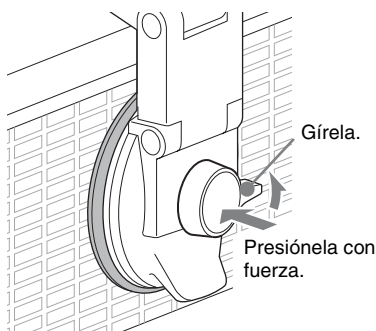
- Seleccione cuidadosamente la ubicación en la que fijará el disco adhesivo. Dado que el disco es de alta adherencia, no se podrá retirar con facilidad una vez esté fijado al monitor de TV. Es posible que el monitor de TV se combe o resulte dañado si se intenta retirar el disco con demasiada fuerza.
- Espere al menos 24 horas a que el disco adhesivo se adhiera completamente a la superficie antes de acoplar la unidad de cámara al disco.
- No podrá volver a fijar el disco adhesivo una vez lo haya extraído, ya que sus propiedades adhesivas se habrán reducido.

Parte posterior del monitor de TV



Disco adhesivo suministrado

- 3** Fije la unidad de cámara firmemente al monitor de TV con la ventosa. Mientras presiona fuertemente el centro de la palanca de la ventosa, gírela en la dirección que se muestra en la ilustración (dirección de bloqueo: LOCK).



Notas

- La unidad de cámara no se puede montar en techos ni paredes.
- Si al presionar el centro de la palanca de la ventosa no aplica suficiente presión, dicha palanca podría desbloquearse. En tales casos, realice el paso descrito anteriormente para fijar de nuevo la ventosa.

Para liberar la ventosa

Gire la palanca de la ventosa en el sentido opuesto (dirección de liberación: RELEASE).

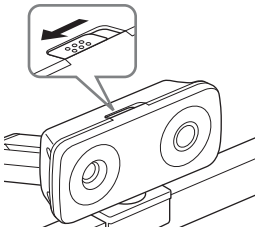
Notas

- No introduzca los dedos ni ningún otro objeto entre la ventosa y el monitor de TV para retirar la ventosa a la fuerza. Si lo hace, podría dañar la ventosa.
- Cuando la unidad de cámara no esté instalada, coloque siempre la cubierta protectora a la ventosa. La fuerza adherente de la ventosa disminuirá si tiene la superficie sucia o rayada.
- Si la superficie de la ventosa se ensucia, límpiela cuidadosamente con un trapo suave y no abrasivo que esté humedecido con agua. Además, siga las siguientes precauciones.
 - No utilice detergentes ni ninguna otra solución limpiadora.

- Asegúrese de que la ventosa esté completamente seca antes de volverla a acoplar.
- Para evitar daños, no permita que el agua se introduzca en el interior del monitor de TV.

Detención temporal de la captura de imágenes

Deslice la palanca de la tapa del objetivo hacia la izquierda (mirando hacia la parte delantera de la unidad de cámara).

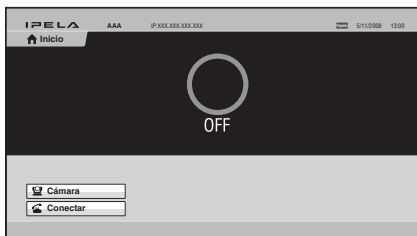


Si una conferencia se lleva a cabo con la tapa del objetivo cerrada, la ubicación remota sólo verá una pantalla negra. Cuando la tapa del objetivo está cerrada, el menú Inicio aparece como se indica a continuación.



Nota

Cuando el suministro de alimentación a la unidad de cámara está desactivado, el menú Inicio aparece como se indica a continuación.



Utilice el mando a distancia para restaurar el suministro de alimentación a la unidad de cámara.

Solución de problemas

Antes de llevar la cámara a reparar, compruebe lo siguiente como orientación para localizar el problema. Si no se puede solucionar, consulte con su distribuidor Sony.

Síntoma	Causa	Solución
La alimentación de la cámara no está conectada.	El cable de la cámara no se ha introducido firmemente en el conector CAMERA del Sistema de comunicación visual HD.	Introduzca el cable de la cámara firmemente en el conector CAMERA del Sistema de comunicación.
El Sistema de comunicación visual HD no puede controlar la cámara correctamente.	—	Apague el Sistema de comunicación y vuélvalo a encender tras unos instantes.

Especificaciones

Señal de vídeo	720p/30
Sincronización	Sincronización interna
Dispositivo de imagen	Tipo 1/3,2 (5,7 mm), CMOS Aprox. 8.000.000 píxeles
Objetivo	f = 2,94 mm (22 mm a 35 mm equivalente) F2,8 Ángulo horizontal: 80,1 grados Ángulo vertical: 62,7 grados
Distancia mínima al objeto	80 mm (extremo WIDE)
Panorámica/inclinación	Horizontal: ±20 grados, Vertical: ±20 grados, funcionamiento manual
Tensión de entrada	19,5 V CC
Consumo de energía	4 W o menos
Temperatura de funcionamiento	5°C a 35°C (41°F a 95°F)
Temperatura de almacenamiento	-20°C a +60°C (-4°F a +140°F)
Dimensiones	116 × 50 × 225 mm (4 ⁵ / ₈ × 2 × 8 ⁷ / ₈ pulgadas) (an/ al/prf)
Peso	Aprox. 500 g (1 lb. 2 oz.)

Accesorios suministrados

Disco adhesivo para ventosa (1)
Manual de instrucciones (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul retro.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.

La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Per gli acquirenti in Europa, Australia e Nuova Zelanda

ATTENZIONE

Questo è un apparecchio di classe A e come tale, in un ambiente domestico, può causare interferenze radio. È necessario quindi che l'utilizzatore adotti gli accorgimenti adeguati.

Nel caso si verifichino interferenze, rivolgersi ad un centro assistenza Sony autorizzato.

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.

Sommario

Precauzioni	58
Fenomeni specifici dei sensori	
CMOS	59
Funzioni	59
Posizione e funzione dei componenti e dei comandi	60
Montaggio della videocamera	61
Montaggio della videocamera sul monitor TV	61
Interruzione temporanea dell'acquisizione delle immagini	62
Risoluzione dei problemi	64
Specifiche tecniche	65

Precauzioni

Luoghi in cui attivare o conservare la videocamera

Per non danneggiare la videocamera, non utilizzarla o conservarla nei luoghi seguenti:

- Posizioni estremamente calde o fredde (temperatura di funzionamento: da 5°C a 35°C)
- Posizioni esposte alla luce solare diretta o vicino ad apparecchi da riscaldamento (ad es. radiatori)
- In prossimità di potenti sorgenti magnetiche
- In prossimità di potenti sorgenti di radiazioni elettromagnetiche, quali trasmettitori radio o televisivi
- Luoghi soggetti a vibrazioni o urti

Ventilazione

Per evitare il surriscaldamento, non bloccare la circolazione dell'aria attorno alla videocamera.

Collegamento al sistema di comunicazione

Non collegare il cavo della videocamera al sistema di comunicazione video HD mentre il sistema di comunicazione è acceso. In caso contrario, la videocamera e il sistema potrebbero danneggiarsi o l'immagine potrebbe non essere visualizzata.

Trasporto

Per trasportare la videocamera, collocarla nuovamente nella confezione originale o utilizzare materiali analoghi.

Pulizia dell'apparecchio principale

- Rimuovere la polvere dagli obiettivi servendosi di un soffietto.
- In caso di necessità, passare un panno morbido leggermente inumidito con un prodotto detergente neutro, diluito, sul corpo della videocamera. Asciugare quindi con un panno asciutto.

- Non utilizzare solventi di nessun tipo, in quanto potrebbero danneggiare le finiture della superficie.
- Quando si utilizza un panno con detergente chimico, attenersi alle relative istruzioni.
- Non spruzzare sulla videocamera sostanze volatili, quali pesticidi, e non lasciare la videocamera a lungo a contatto con materiali in gomma o vinilici. In caso contrario potrebbero danneggiarsi le finiture della superficie.

Manutenzione

Dopo lunghi periodi di utilizzo potrebbero sentirsi rumori anomali provenienti dal meccanismo della videocamera, causati dall'usura o dalla mancata lubrificazione. Per assicurare prestazioni ottimali, si consiglia di eseguire gli interventi di manutenzione periodica. In caso di rumori anomali, rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Nota sui raggi laser

I raggi laser possono danneggiare il sensore immagini CMOS. Fare attenzione che la superficie del sensore immagini CMOS non venga esposta ai raggi laser in ambienti in cui si utilizza un dispositivo a raggi laser.

Fenomeni specifici dei sensori CMOS

I seguenti fenomeni che possono presentarsi nelle immagini sono specifici dei sensori di cattura immagini CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor). Non sono segnale di cattivo funzionamento.

Macchiette bianche

I sensori CMOS sono prodotti con tecnologie di elevatissima precisione. Ciononostante possono presentarsi sullo schermo in alcuni rari casi piccole macchiette bianche, causate da raggi cosmici ecc.

Questo fenomeno è dovuto al principio di funzionamento dei sensori per immagini CMOS e non è un malfunzionamento.

Le macchiette bianche tendono ad apparire principalmente nei seguenti casi:

- in caso di elevate temperature ambiente
- se è stato aumentato il guadagno (sensibilità)

Questo fenomeno può essere migliorato spegnendo e riaccendendo la videocamera.

Aliasing

Se vengono ripresi motivi, righe o simili molto “fitti”, questi possono apparire spezzettati o tremolare.

Funzioni

La videocamera è progettata per essere utilizzata esclusivamente con il sistema di comunicazione video HD Sony PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

L'alimentazione viene fornita alla videocamera dal sistema di comunicazione video HD. Per i dettagli sulle regolazioni e sulle impostazioni della videocamera, consultare le Istruzioni per l'uso del sistema PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

Videocamera CMOS con elevata qualità dell'immagine

La videocamera consente di riprendere immagini ad alta definizione e di qualità superiore, grazie a una risoluzione da 8.000.000 di elementi effettivi delle immagini (pixel).

Microfono incorporato

Con un microfono incorporato la videocamera ha un ingombro ridotto.

Copriobiettivo per quando l'acquisizione delle immagini non è necessaria

Coprendo l'obiettivo con il copriobiettivo, è possibile interrompere temporaneamente l'acquisizione delle immagini lasciando in funzione il sistema.

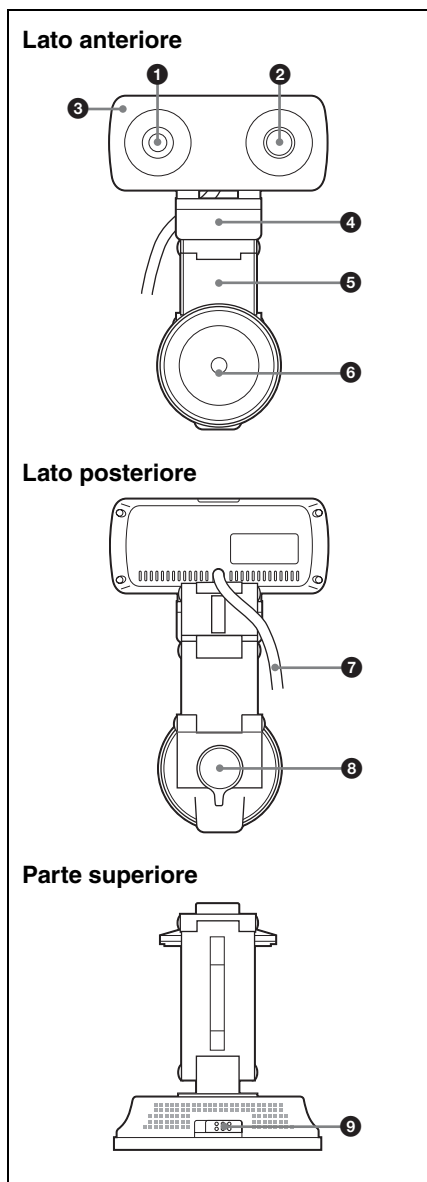
Semplice montaggio della ventosa

Montare la videocamera sul monitor TV con una singola ventosa. Il braccio snodabile regolabile consente il montaggio su una vasta gamma di monitor TV. (Il montaggio può risultare impossibile con alcuni modelli di monitor TV).

Formato video compatibile con HD

La videocamera consente di riprendere immagini usando il formato video ad alta definizione 720p, analogo al broadcasting di segnali video ad alta definizione HD.

Posizione e funzione dei componenti e dei comandi



1 Obiettivo

Obiettivo zoom digitale 3x.

2 Microfono

Microfono monofonico integrato.

3 Spia di segnalazione

Si illumina durante la trasmissione delle immagini delle telecamera al partecipante remoto in una conferenza.

4 Base inclinabile

Appoggiata sulla parte superiore del monitor TV, supporta la videocamera.

5 Braccio snodabile

Regolarlo in modo che la ventosa sul fondo si allinei correttamente al retro del monitor TV.

6 Ventosa

Per il montaggio sul retro del monitor TV o su una scrivania.

Se la ventosa non aderisce adeguatamente, applicare prima il disco adesivo in dotazione sul lato posteriore del monitor o sulla scrivania.

7 Cavo di connessione

Collegare il connettore CAMERA al sistema di comunicazione video HD.

8 Levetta della ventosa

Ruotare la levetta esercitando allo stesso tempo una forte pressione su di essa per fissare la ventosa. Ruotare semplicemente la levetta per staccare la ventosa.

9 Levetta del copriobiettivo

Aprire o chiudere il copriobiettivo.

Montaggio della videocamera

Montaggio della videocamera sul monitor TV

Montare la videocamera sulla parte superiore del monitor TV.

- 1 Rimuovere la copertura di protezione dalla ventosa.
- 2 Stabilire la posizione in cui si desidera fissare la ventosa.
Per stabilire l'ubicazione della ventosa, poggiare la videocamera in cima al monitor TV, quindi spostare il braccio snodabile regolabile.

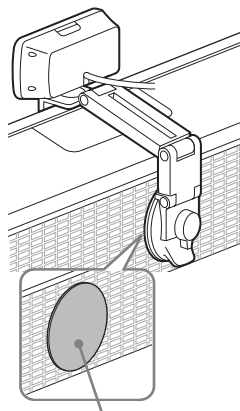
Note

- Non inclinare il monitor TV di 20 o più gradi in avanti o indietro, per non superare l'intervallo di inclinazione della videocamera (± 20 gradi).
- A seconda del modello di monitor TV, certe zone potrebbero riscaldarsi con il funzionamento. Evitare di fissare la videocamera in queste zone.
- Non montare la videocamera in una posizione che possa ostruire le aperture di ventilazione del monitor TV.
- Determinati tipi di monitor TV, indicati di seguito, possono non consentire di fissare saldamente la ventosa. In tali casi, applicare prima sul monitor TV il disco adesivo fornito, e quindi fissare la videocamera al disco.
Il mancato utilizzo del disco adesivo può impedire il fissaggio della ventosa oppure causare danni o deformazioni al monitor TV.
 - Monitor TV costruiti in materiali morbidi, soggetti a deformazioni se premuti con la mano.
 - Monitor TV con superfici non levigate.
- Selezionare con attenzione la posizione in cui applicare il disco adesivo.
Il disco utilizza un adesivo molto forte e

può essere rimosso solo con difficoltà una volta applicato al monitor TV. Se si cerca di rimuovere il disco con forza eccessiva si potrebbero causare danni o deformazioni al monitor TV.

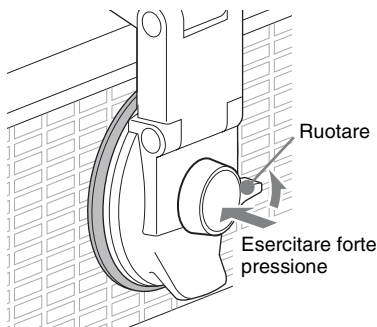
- Prima di fissare la videocamera al disco adesivo attendere almeno 24 ore affinché il disco aderisca completamente alla superficie.
- Una volta rimosso, il disco adesivo non potrà essere applicato nuovamente poiché le proprietà adesive risulteranno ridotte.

Retro del monitor TV



Disco adesivo fornito

- 3 Fissare la videocamera al monitor TV utilizzando la ventosa.
Esercitando una forte pressione sul centro della levetta della ventosa, ruotarla nella direzione indicata in figura (verso LOCK).



Note

- La videocamera non può essere montata sul soffitto o sulle pareti di locali.
- Per evitare che la levetta della ventosa si sblocchi, assicurarsi di esercitare una pressione sufficiente al centro della levetta. Se necessario, ripetere le operazioni sopra descritte per fissare nuovamente la ventosa.

Come sbloccare la ventosa

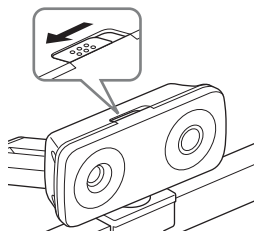
Girare la levetta della ventosa nella direzione opposta (in direzione RELEASE).

Note

- Non cercare di forzare il distacco della ventosa inserendo le dita o altri oggetti fra la ventosa e la superficie del monitor TV. Questo potrebbe danneggiare la ventosa.
- Se la videocamera non è montata, applicare sempre la copertura di protezione sulla ventosa. La forza di adesione della ventosa sarà compromessa se la sua superficie è sporca o graffiata.
- Se la superficie di contatto della ventosa dovesse sporcarsi, pulirla gentilmente con un panno morbido e non abrasivo, appena inumidito con acqua. Osservare inoltre anche le seguenti precauzioni:
 - Non usare detergenti o liquidi di pulizia.
 - Assicurarsi che la ventosa sia completamente asciutta prima di fissarla nuovamente.
 - Per prevenire danni, evitare sempre l'ingresso di acqua nel monitor TV.

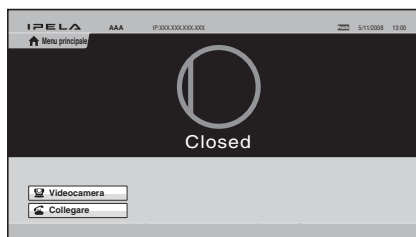
Interruzione temporanea dell'acquisizione delle immagini

Far scorrere la levetta del copriobiettivo verso sinistra (guardando verso la videocamera).



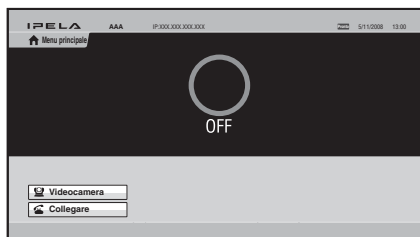
Se la conferenza viene condotta con il coperchio dell'obiettivo chiuso, il partecipante remoto vedrà solo una schermata nera.

Quando viene chiuso il coperchio dell'obiettivo è visualizzato il menu principale, come riportato di seguito.



Nota

Quando l'alimentazione verso la videocamera è disabilitata è visualizzato il menu principale, come riportato di seguito.



Azionare il telecomando per ripristinare l'alimentazione della videocamera.

Risoluzione dei problemi

Prima di consegnare la videocamera al servizio di assistenza, controllare quanto segue per risolvere il problema. Se il problema persiste, rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Sintomo	Causa	Soluzione
L'alimentazione della videocamera non è inserita.	Il cavo della videocamera non è inserito correttamente nel connettore CAMERA del sistema di comunicazione video HD.	Inserire correttamente il cavo della videocamera nel connettore CAMERA del sistema di comunicazione.
Il sistema di comunicazione video HD non riesce a controllare correttamente la videocamera.	—	Spegnere il sistema di comunicazione e accenderlo nuovamente dopo qualche istante.

Specifiche tecniche

Segnale video 720p/30

Sincronizzazione

Sincronizzazione interna

Dispositivo immagine

Tipo 1/3,2 (5,7 mm), CMOS

ca. 8.000.000 pixel

Obiettivo

f = 2,94 mm (22 mm in 35 mm
equivalente) F2,8

Angolo orizzontale: 80,1 gradi

Angolo verticale: 62,7 gradi

Distanza minima dell'oggetto

80 mm (lato WIDE)

Movimento orizzontale/verticale

Orizzontale: ± 20 gradi,

Verticale: ± 20 gradi,

funzionamento manuale

Tensione di ingresso

19,5 V CC

Consumo di corrente

4 W o meno

Temperatura di utilizzo

Da 5°C a 35°C

Temperatura di immagazzinamento

Da -20°C a +60°C

Dimensioni

116 × 50 × 225 mm (L × H × P)

Peso

Circa 500 g

Accessori forniti in dotazione

Disco adesivo per ventosa (1)

Istruzioni per l'uso (1)

Realizzazione e caratteristiche tecniche sono soggette a modifica senza preavviso.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE

机型名称：HD 摄像机
使用产品前请仔细阅读本使用说明书，
并请妥善保管。

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为避免电击，请勿拆卸机壳。维修事宜应仅由合格维修人员进行。

重要

设备铭牌位于背面。

声明

此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

目录

使用前须知	68
CMOS 图像传感器的特有现象	69
特点	69
各部件及控制按钮的位置和 功能	70
安装摄像机	71
在电视监视器上安装摄像机	71
暂时停止图像捕捉	72
故障排除	73
规格	74

使用前须知

使用和存放地点

在以下地方使用或存放摄像机会导致摄像机损坏：

- 过热或过冷的地方（工作温度：5°C 到 35°C）
- 暴露在直射阳光下，或靠近发热的物体（例如加热器）
- 靠近强磁性物体的地方
- 靠近有强电磁辐射的地方，如收音机或电视发射机附近。
- 有震动或冲击的地方

通风

为了防止过热，不要阻碍摄像机四周的通风。

连接到会议电视终端

当会议电视终端开启时，不得将摄像机电缆连接到 HD 会议电视终端。否则摄像机和电视终端有可能会损坏，或者可能无法显示图像。

搬运

在搬运摄像机之前，请使用原厂或同等质量的包装箱对其进行重新包装。

清洁主机

- 使用吹风机去掉镜头上的灰尘。
- 当摄像机主体变脏后，用浸过少量中性清洁剂的软布进行擦拭。然后用一块干布将其擦干。
- 请不要使用任何类型的溶剂，否则会损伤表面。
- 当您使用化学清洁布时，请仔细阅读其使用说明。
- 请勿向摄像机上喷洒挥发性物质如杀虫剂，也不要让橡胶或乙烯类物品长时间接触摄像机。否则会损伤表面。

维护

由于长时间使用后会致机体磨损和润滑油损耗，摄像机会出现异常的噪声。因此要保持最佳性能，我们建议进行定期维护。如果出现异常噪声，请咨询您的 Sony 经销商。

激光束说明

激光束可能会损坏 CMOS 图像感应器。请注意，在使用激光束设备的环境中，您不能将 CMOS 图像感应器的表面暴露在环境中的激光束辐射之下。

CMOS 图像传感器的特有现象

图像中可能出现的以下现象是 CMOS（互补金属氧化物半导体）图像传感器所特有的。这些现象不是故障。

白斑

虽然 CMOS 图像传感器是采用高精度技术生产的，但由于宇宙射线等的影响，其屏幕上可能会出现细小的白斑（极少数情况）。这与 CMOS 图像传感器的原理有关，出现的白斑并不是故障。

在以下情况中，比较容易出现白斑：

- 在高温环境下进行操作时
- 提高倍率（灵敏度）时

此现象可以通过关闭并重新打开摄像机得到改善。

图形失真

拍摄微小的图案、条纹或线条时，它们可能呈锯齿状或出现闪烁现象。

特点

此摄像机仅与 Sony PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 HD 会议电视终端一同使用。

其电源由 HD 会议电视终端提供。有关调整和设置摄像机的详情，请参见 PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 的使用说明书。

高图像质量 CMOS 摄像机

此摄像机提供 800 万有效像素，可拍摄高清晰度图像以提供出色图像质量。

内置麦克风

使用内置麦克风，缩小了摄像机体积。

无需捕捉图像时使用的镜头盖

用镜头盖隐藏镜头，可在系统运行的情况下暂时停止捕捉图像。

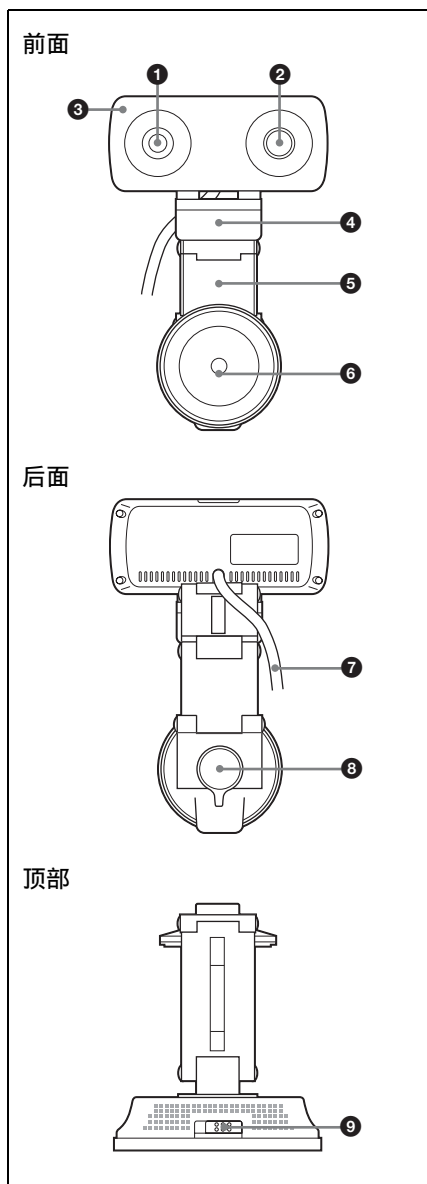
简单的吸盘安装

使用单个吸盘将摄像机安装到电视监视器。使用可调节连接臂能将其安装到多种不同的电视监视器。（可能无法在某些电视监视器上进行安装。）

兼容 HD 的视频格式

此摄像机可以让您使用 720p 高清晰度视频格式来拍摄图像，这种视频格式与 HD-TV 广播相同。

各部件及控制按钮的位置和功能



- 1 镜头**
3 倍数字变焦镜头。
- 2 麦克风**
内置单声道麦克风。
- 3 摄像指示灯**
会议期间将摄像机图像发送至对方时会亮起。
- 4 倾斜拍摄基座**
位于电视监视器的顶部，用于支撑摄像机。
- 5 连接臂**
对此进行调整，使底部的吸盘与电视监视器的背部正确对齐。
- 6 吸盘**
安装在电视监视器的背面或桌面上。如果吸盘连接不当，可预先将随附的粘着盘连接至电视监视器的背面或桌面上。
- 7 连接线**
连接到 HD 会议电视终端的 CAMERA 接口。
- 8 吸盘固定杆**
用力按下的同时转动此杆以安装吸盘。只需转动此杆即可释放吸盘。
- 9 镜头盖固定杆**
打开或闭合镜头盖。

安装摄像机

在电视监视器上安装摄像机

将本摄像机安装到电视监视器顶部。

1 去掉吸盘的保护套。

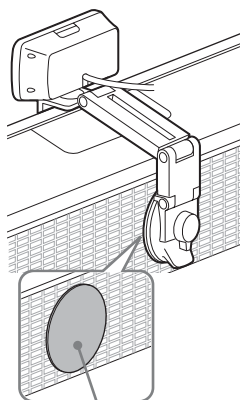
2 确定吸盘的安装位置。

要确定吸盘的安装位置，请松开电视监视器顶部的摄像机，并移动可调节连接臂。

注意

- 请勿将摄像机向前或向后倾斜20度及以上。（这将超出摄像机的倾斜范围（ ± 20 度）。）
- 视电视监视器的型号而定，某些区域可能发热。确定安装位置时请避开这些区域。
- 安装摄像机时请勿阻挡电视监视器的通风孔。
- 可能无法在以下类型的电视监视器上牢固安装吸盘。在此类情况下，将随附的粘着盘固定到电视监视器，然后将摄像机安装到粘着盘上。
 - 电视监视器材质较软以增强手感
 - 电视监视器表面粗糙
- 仔细选择固定粘着盘的位置。由于粘着盘的粘力很强，因此固定到电视监视器后就很难移除。如果为了尝试移除粘着盘而过度用力，可能导致电视监视器歪曲或受损。
- 将摄像机连接至粘着盘之前，请等待24小时，让粘着盘与桌面完全粘合。
- 一旦移除粘着盘，将不能再次使用，因为其粘力已经减弱。

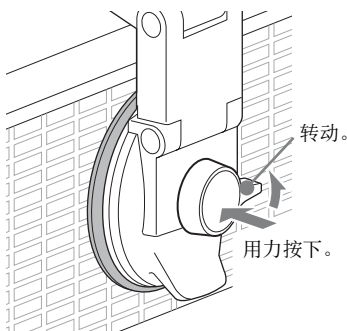
电视监视器背面



随附的粘着盘

3 使用该吸盘将摄像机固定到电视监视器。

用力按下吸盘固定杆中央的同时，沿指示的方向转动吸盘控制杆（LOCK方向）。



注意

- 本摄像机不能安装在天花板或墙壁上。
- 如果在按下吸盘固定杆时用力不够，吸盘固定杆可能会松开。在此情况下，请执行上述步骤以重新固定吸盘。

要释放吸盘

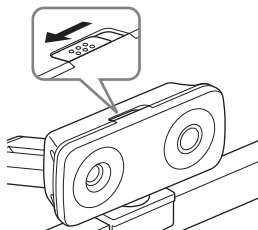
沿相反的方向转动吸盘固定杆（RELEASE 方向）。

注意

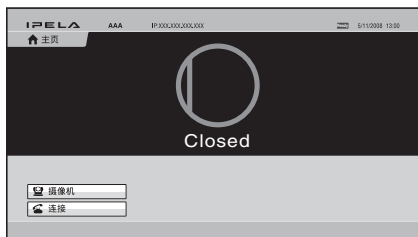
- 请勿在吸盘和电视监视器之间插入手指或其他物体以强行移除吸盘。这样会损坏吸盘。
- 未安装摄像机时，务必给吸盘带上保护套。如果吸盘表面变脏或被刮擦，吸盘的粘力将减弱。
- 如果吸盘表面变脏，请用清水浸湿的平滑软布对其进行轻轻擦拭。此外，请遵守以下注意事项。
 - 请勿使用清洁剂或其他清洁类溶剂。
 - 重新安装时，务必确保吸盘完全干燥。
 - 避免电视监视器内部进水以免受损。

暂时停止图像捕捉

向左滑动镜头盖固定杆（面向摄像机正面对时）。

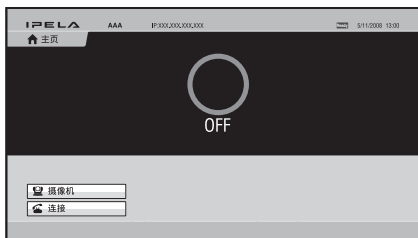


如果在镜头盖闭合的情况下进行会议，则对方将只能看见黑屏。关闭镜头盖后，“主页”菜单显示如下。



注意

禁用摄像机电源时，主页菜单如下所示。



请操作遥控器恢复摄像机的电源。

故障排除

在将您的摄像机送修前，按照以下指南排除摄像机故障。如果故障无法排除，请咨询您的 Sony 经销商。

症状	原因	解决办法
摄像机电源无法打开。	摄像机电缆未紧紧插入 HD 会议电视终端上的 CAMERA 接口中。	将摄像机电缆紧紧插入电视终端的 CAMERA 接口中。
HD 会议电视终端无法正确控制摄像机。	—	关闭电视终端的电源，稍后重新打开电源。

规格

视频信号	720p/30
同步	内同步
成像元件	1/3.2 型（5.7 毫米），CMOS 约 800 万像素
镜头	f = 2.94 毫米（等同于 35 毫米 胶片相机中的 22 毫米）F2.8 水平角度：80.1 度 垂直角度：62.7 度
近摄距离	80 毫米（WIDE 端）
摇拍 / 倾斜操作	水平：± 20 度， 垂直：± 20 度，手动操作
输入电压	19.5 V DC
电源要求	小于等于 4 W
工作温度	5℃到 35℃
存放温度	-20℃到 +60℃
尺寸	116 × 50 × 225 毫米 （宽 × 高 × 厚）
重量	大约 500 克

随机附件

- 吸盘的粘合盘 (1)
- 使用说明书 (1)

设计和规格如有更改，恕不另行通知。

注意

在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，
**SONY 对任何损坏（包括但不限于）
概不负责。由于本机故障造成的现有
损失或预期利润损失，不进行退货或
赔偿。**

Antes de utilizar a unidade, leia atentamente este manual e mantenha-o para referência futura.

AVISO

Para evitar o perigo de incêndio ou choque eléctrico, não exponha a unidade nem a chuva nem a humidade.

Para evitar choques eléctricos, não abra a caixa. Os serviços de assistência só devem ser prestados por técnicos qualificados.

IMPORTANTE

A chapa de identificação está localizada na lateral traseira.

Para clientes na Europa

O fabricante deste produto é a Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japão.

O Representante Autorizado para o EMC e segurança de produtos é a Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemanha. Para quaisquer questões sobre serviço ou a garantia, consulte os endereços nos documentos de serviço ou garantia fornecidos à parte.

Para clientes na Europa, Austrália e Nova Zelândia

AVISO

Este é um produto de Classe A. Num local fechado, este produto pode provocar interferências de rádio e, no caso de se verificarem, o utilizador pode ter de tomar as precauções necessárias.

Se se verificarem interferências, entre em contacto com os serviços técnicos autorizados da Sony da sua zona.

Este aparelho não deve ser usado em área residencial.

Índice

Precauções	78
Fenômenos específicos de sensores de imagem CMOS	79
Características	79
Localização e Funções de Peças e Comandos	80
Instalando a Câmera	81
Montagem da Câmera no Monitor da TV	81
Interrupção temporária da captura de imagem	82
Resolução de problemas	83
Especificações	84

Precauções

Local de operação ou armazenamento

A operação ou o armazenamento da câmera nos seguintes locais pode causar danos à câmera:

- Muito quentes ou muito frios (Temperatura de operação: 5°C a 35°C)
- Expostos à luz direta do sol ou próximos a equipamentos que geram calor (p. ex., aquecedores)
- Próximos a fontes de forte magnetismo
- Próximos a fontes de forte radiação eletromagnética, como transmissores de TV ou rádio
- Locais sujeitos a vibração ou choque

Ventilação

Para impedir a formação de calor, não bloqueie a circulação de ar em torno da câmera.

Conexão ao Sistema de Comunicação

Não conecte o cabo da câmera ao Sistema de Comunicação Visual HD enquanto ele estiver ligado. Do contrário, a câmera e o Sistema podem sofrer danos, ou a imagem pode não ser exibida.

Transporte

Ao transportar a câmera, empacote-a novamente em sua embalagem original de fábrica ou em materiais de mesma qualidade.

Limpando a unidade principal

- Use um ventilador para remover poeira da lente.
- Quando o corpo da câmera estiver sujo, limpe-o com um pano macio embebido em detergente neutro e bem torcido. Depois faça o acabamento com um pano seco.
- Não use qualquer tipo de solvente pois poderia danificar o acabamento.
- Quando usar tecido químico, siga as instruções do fabricante do tecido.

- Não borrife material volátil, como pesticidas, sobre a câmera nem permite o contato de borracha ou vinil com a câmera por muito tempo. Tal contato pode danificar a superfície o acabamento.

Manutenção

O mecanismo da câmera pode causar ruído anormal devido a desgaste e perda de lubrificação após muito tempo de uso. Para manter o desempenho ideal, recomendamos manutenção periódica. Se ocorrer ruído anormal, consulte seu representante Sony.

Observação sobre feixes de laser

Feixes de laser podem danificar um sensor de imagem CMOS. Você deve ter cuidado para não expor a superfície de um sensor de imagem CMOS à radiação de feixes de laser em um ambiente onde é utilizado um dispositivo que emite feixes de laser.

Fenômenos específicos de sensores de imagem CMOS

Os seguintes fenômenos podem ocorrer nas imagens específicas de sensores de imagem CMOS (semicondutor complementar de óxido metálico). Isso não indica defeito.

Manchas brancas

Embora os sensores de imagem CMOS sejam produzidos com tecnologia de alta precisão, manchas brancas finas podem ser geradas na tela, raramente, causadas por raios cósmicos etc.

Isso se deve aos preceitos dos sensores de imagem CMOS e não é um defeito.

As manchas brancas tendem, principalmente, a ocorrer nestes casos:

- ao operar em alta temperatura ambiente
- ao elevar o aprimoramento (sensibilidade)

Este fenômeno pode ser melhorado desligando-se a câmera e em seguida, ligando-a novamente.

Graduação gráfica

Quando padrões finos, tiras ou linhas são filmados, podem aparecer com efeito serrilhado ou tremido.

Características

A câmera é projetada para ser usada exclusivamente com o PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55 Sistema de Comunicação por Vídeo HD da Sony. A alimentação é fornecida pelo Sistema de Comunicação por Vídeo HD. Para obter ajustes e configurações da câmera, consulte as Instruções de Operação do PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55.

Câmera CMOS com alta qualidade de imagem

A unidade da câmera tem 8.000.000 pixels reais (elemento de imagem) que podem captar imagens de alta definição para fornecer qualidade de imagem superior.

Microfone integrado

Com um microfone integrado, a câmera ocupa uma área pequena.

Tampa de lente para quando a captura de imagem não for necessária

Se você ocultar a lente com a tampa, poderá interromper a captura de imagem temporariamente enquanto o sistema ainda estiver funcionando.

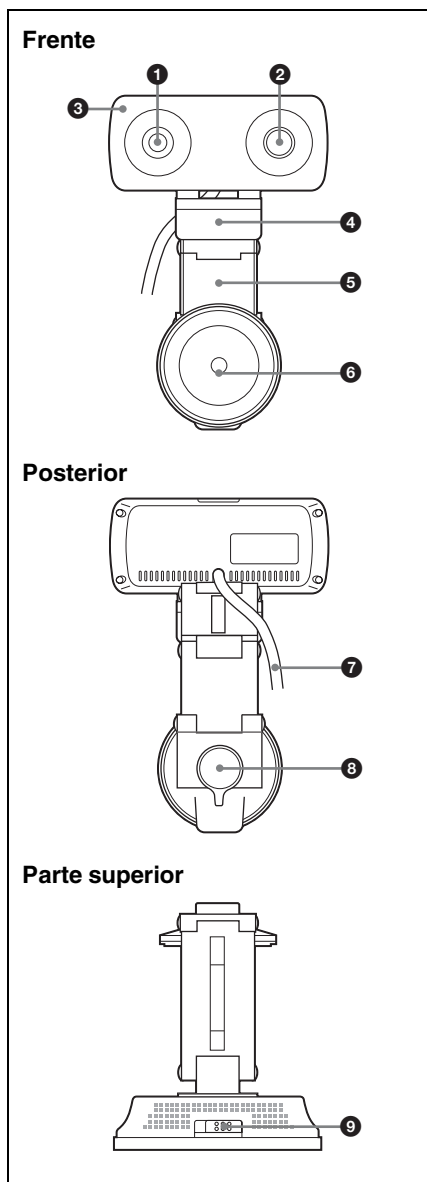
Montagem da ventosa simples

Monte a câmera no monitor da TV com uma única ventosa. O braço de ligação ajustável permite a montagem em monitores de TV de qualquer espessura. (A montagem pode não ser possível em alguns monitores de TV.)

Formato de vídeo compatível com HD

A câmera também permite a captura de uma imagem com formato de vídeo 720p de alta definição, o que equivale a uma transmissão HD-TV.

Localização e Funções de Peças e Comandos



1 Lente

Lentes de zoom digital 3x.

2 Microfone

Microfone mono integrado.

3 Lâmpada Tally

Acende quando as imagens da câmera estão sendo enviadas para a parte remota durante as conferências.

4 Base de inclinação

Fica na parte superior do monitor da TV e suporta a unidade de câmera.

5 Braço de ligação

Ajuste-o para que a ventosa da parte inferior se alinhe corretamente à parte traseira do monitor da TV.

6 Ventosa

Fixada na parte traseira do monitor da TV ou a uma mesa.

Se a ventosa não se prender corretamente, coloque o disco adesivo fornecido na parte de baixo do monitor de TV ou sobre a mesa, antes de posicionar o monitor.

7 Cabo de conexão

Conectado ao conector CAMERA no Sistema de Comunicação Visual HD.

8 Alavanca da ventosa

Gire esta alavanca pressionando-a firmemente para baixo para fixar a ventosa. Gire a alavanca para soltar a ventosa.

9 Alavanca da tampa da lente

Abre ou fecha a tampa da lente.

Instalando a Câmera

Montagem da Câmera no Monitor da TV

Instale esta unidade de câmera na parte superior do monitor de TV.

1 Remova a tampa protetora da ventosa.

2 Determine o local em que a ventosa será fixada.

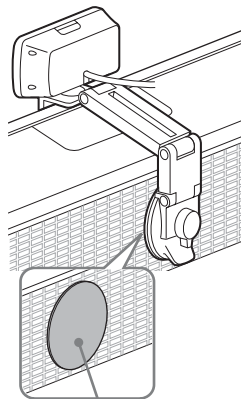
Para determinar o local da ventosa, coloque a câmera na parte superior do monitor da TV e mova o braço de ligação ajustável.

Notas

- Não incline o monitor de TV a 20 graus ou mais nas direções para frente ou para trás. (Isto fará com que a faixa de inclinação da unidade de câmera seja excedida (± 20 graus).)
- Dependendo do modelo do monitor de TV, algumas áreas podem ficar aquecidas. Evite essas áreas ao determinar um local para montagem.
- Não obstrua os orifícios de ventilação do monitor de TV ao montar a câmera.
- A ventosa pode não se prender firmemente nos tipos de monitor de TV a seguir. Nesse caso, coloque o disco adesivo fornecido no monitor de TV e prenda a unidade de câmera ao disco.
 - Monitores de TV feitos de materiais frágeis que entortam com o toque
 - Monitores de TV com superfícies ásperas
- Selecione cuidadosamente o local em que o disco adesivo será colocado. Como o disco é altamente adesivo, não pode ser removido depois que é colocado no monitor de TV. Tentar remover o disco com força excessiva pode entortar ou danificar o monitor de TV.

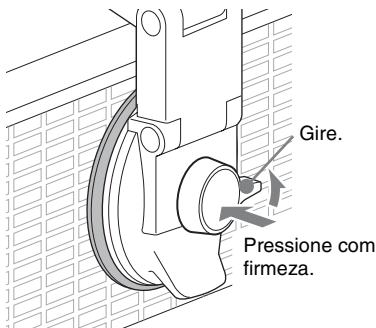
- Aguarde pelo menos 24 horas até que o disco adesivo cole completamente na superfície antes de acoplar a unidade de câmera ao disco.
- Depois de removido, o disco adesivo não pode ser colado novamente, já que as suas propriedades adesivas ficam reduzidas.

Parte traseira do monitor da TV



Disco adesivo fornecido

3 Prenda a unidade de câmera ao monitor de TV com a ventosa. Pressione firmemente o centro da alavanca da ventosa e gire-a na direção ilustrada (direção LOCK).



Notas

- A unidade de câmera não pode ser instalada no teto nem na parede.
- Se você não aplicar pressão suficiente ao pressionar o centro da alavanca da ventosa, esta pode se destravar. Nesses casos, execute

a etapa acima para fixar a ventosa novamente.

Para soltar a ventosa

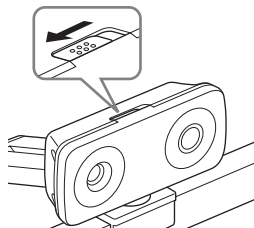
Gire a alavanca da ventosa na direção oposta (direção RELEASE).

Notas

- Não force a remoção da ventosa inserindo os dedos ou outros objetos entre a ventosa e o monitor de TV. Isso pode danificar a ventosa.
- Quando a unidade de câmera não estiver montada, mantenha sempre a tampa protetora na ventosa. O poder de adesão da ventosa diminuirá se a superfície estiver suja ou arranhada.
- Se a ventosa ficar suja, limpe delicadamente a superfície com um pano suave e não-abrasivo umedecido com água. Além disso, siga as seguintes precauções.
 - Não utilize detergentes ou outros produtos de limpeza.
 - Verifique se a ventosa está completamente seca antes de prendê-la novamente.
 - Para evitar danos, não permita a entrada de água dentro do monitor de TV.

Interrupção temporária da captura de imagem

Delize a alavanca da tampa da lente para a esquerda (ao ficar de frente para a unidade de câmera).



Se uma conferência for conduzida com a tampa da lente fechada, apenas uma tela preta ficará visível para a parte remota. Quando a tampa da lente estiver fechada, o Menu inicial será exibido da seguinte maneira.



Nota

Quando a fonte de alimentação da câmera estiver desativada, o Menu inicial será exibido da seguinte maneira.



Opere o Controle Remoto para restaurar a fonte de alimentação à unidade de câmera.

Resolução de problemas

Antes de colocar sua câmera para funcionar, utilize os itens a seguir como um guia para a solução do problema. Se o problema não puder ser corrigido, consulte seu representante Sony.

Sintoma	Causa	Solução
A alimentação da câmera não está ligada.	O cabo da câmera não está inserido firmemente no conector CAMERA no Sistema de Comunicação por Vídeo HD.	Insira o cabo da câmera firmemente no conector CAMERA no Sistema de Comunicação.
O Sistema de Comunicação por Vídeo HD não consegue controlar a câmera corretamente.	—	Desligue a alimentação do Sistema de Comunicação e ligue-a de volta um pouco depois.

Especificações

Sinal de vídeo	720p/30
Sincronização	Sincronização interna
Dispositivo de imagem	tipo 1/3,2 (5,7 mm), CMOS aprox. 8.000.000 pixels
Lente	f = 2,94 mm (22 mm no equivalente a 35 mm) F2,8 Ângulo horizontal: 80,1 graus Ângulo vertical: 62,7 graus
Distância mínima do objeto	80 mm (ponta WIDE)
Ação de pan/tilt (girar/inclinar)	Horizontal: ±20 graus, Vertical: ±20 graus, operação manual
Tensão de entrada	19,5 V CC
Consumo de energia	4 W ou menos
Temperatura operacional	5°C a 35°C
Temperatura de armazenamento	-20°C a +60°C
Dimensões	116 × 50 × 225 mm (l/a/p)
Massa	Aprox. 500 g

Acessórios fornecidos

Disco adesivo da ventosa (1)
Instruções de Operação (1)

O projeto e as especificações estão sujeitos a alterações sem aviso prévio.

Nota

Verifique sempre se a unidade está a funcionar correctamente antes de a usar. A SONY NÃO SE RESPONSABILIZA POR DANOS DE QUALQUER TIPO, INCLUINDO, MAS NÃO LIMITADOS A, COMPENSAÇÃO OU REEMBOLSO DEVIDO A PERDA DE LUCROS ACTUAIS OU FUTUROS NO DECORRER DE AVARIA DESTA UNIDADE, QUER DURANTE O PERÍODO DE GARANTIA QUER APÓS A EXPIRAÇÃO DA GARANTIA OU POR QUALQUER OUTRA RAZÃO.

